

# すずむし

NO. 128

Sep. 1994

倉敷昆虫同好会

## 最近の種松山山系のトンボ

守 安 敦\*

種松山山系は、岡山県南倉敷市街地の南に位置し、標高258.4mの種松山を中心に東西約7km、南北約5kmの山地である。ここには大小の池や小湿地が散在し、小溪流もいくつかあって、水生昆虫であるトンボにとっては恵まれた環境といえる。しかし、近年粒江から曾原にかけての瀬戸中央道、土取川、産業廃棄物処理場などの建設によりその生息場所はどんどんせばめられている。当地域のトンボ相については、重井(1981)の報告がある。筆者は、1991年5月から1993年10月にかけて、当地域において調査を行ったところ、以下のトンボを採集あるいは目撲したので報告する。なお、このなかには、幼虫を飼育羽化させたものも含まれる。また、重井(1981)により報告されていないものについては、種名の前に○印をつけ、筆者の採集保管品以外には注書をつけた。

### イトトンボ科

- キイトンボ 1♂, 28. VII. 1991
- アジアイトトンボ 1♂, 26. IV. 1992
- アオモントンボ 1♂, 29. VII. 1992
- クロイトンボ 1♀, 11. X. 1992
- オオイトトンボ 1♀, 29. IV. 1992
- ムスジイトトンボ 1♂, 28. VI. 1992
- セスジイトトンボ 1♂, 28. VI. 1992

### モノサシトンボ科

- モノサシトンボ 1♂, 19. V. 1991

### アオイトトンボ科

- オツネントンボ 1♀, 29. IV. 1992
- ホソミオツネントンボ 1♂, 29. IV. 1992
- アオイトトンボ 1♀, 26. VII. 1991
- オオアオイトトンボ 1♀, 15. IX. 1993

### カワトンボ科

- ハグロトンボ 1♂, 24. VII. 1993

- ニシカワトンボ 5♂, 29. IV. 1992

### サナエトンボ科

- ヤマサナエ 1♀, 4. V. 1992

- キイロサナエ 1♂, 11. VII. 1993

- フタスジサナエ 1♀, 3. V. 1993

- オグマサナエ 1♂ 1♀, 19. VI. 1991

- オジロサナエ 1♀, 13. VI. 1993

- 1♀, 21. VI. 1993, 羽化

- コオニヤンマ 1♀, 11. VI. 1993, 羽化

- 1♂, 31. VII. 1993, 目撃

- ウチワヤンマ 1♂, 11. VIII. 1991

- タイワンウチワヤンマ 1♂, 11. VII. 1991

### オニヤンマ科

- オニヤンマ 1♀, 28. VII. 1991

### ヤンマ科

- コシボソヤンマ 1♀, 24. VI. 1993, 目撃

- ミルンヤンマ 1♀, 31. VI. 1993

- アオヤンマ 1♀, 21. VII. 1991

- カトリヤンマ 1♀, 26. VII. 1991

- ヤブヤンマ 1♀, 3. VII. 1993

- マルタンヤンマ 1♀, 20. VI. 1993, 羽化

- 1♂, 20. VI. 1993

- ギンヤンマ 1♂, 14. VIII. 1992

- クロスジギンヤンマ 1♀, 24. IV. 1992, 羽化

### エゾトンボ科

- コヤマトンボ 1♂, 10. V. 1993, 羽化

- キイロヤマトンボ 1♂, 18. VI. 1993, 羽化, 答者採集倉敷昆虫館保管

- オオヤマトンボ 1♀, 11. VIII. 1991

- ハネビロエゾトンボ 1♀, 24. VI. 1993

- タカネトンボ 1♂, 29. VII. 1992

\* 〒710 倉敷市浦田2430

○トラフトンボ 1♂, 19. V. 1991

#### トンボ科

ハラビロトンボ 1♂, 21. VII. 1991, 目撃

シオカラトンボ 1♂, 3. VII. 1993

シオヤトンボ 1♀, 3. V. 1992

オオシオカラトンボ 1♂, 5. VI. 1991

ヨツボシトンボ 1♀, 5. V. 1992

ハッショウトンボ 2♂ 1♀, 6. VII. 1991, 目撃

○コフキトンボ 1♂, 23. VII. 1992

ショウジョウトンボ 1♂, 11. V. 1991

アキアカネ 1♀, 22. IX. 1991

ナツアカネ 1♀, 29. VII. 1991

マユタテアカネ 1♂, 26. VII. 1991

○マイコアカネ 1♂, 30. VII. 1991

ヒメアカネ 1♂, 16. IX. 1991

ミヤマアカネ 1♀, 29. IX. 1991, 目撃

ノシメトンボ 1♂, 16. IX. 1991

コノシメトンボ 1♂, 29. VII. 1991

○リスアカネ 1♂, 22. IX. 1992

○ナニワトンボ 1♂, 15. IX. 1992

○キトンボ 1♂, 9. X. 1993

ネキトンボ 1♂, 15. IX. 1992, 目撃

コシアキトンボ 1♂, 28. VII. 1991

○チョウトンボ 1♂, 28. VII. 1991

ウスバキトンボ 1♂, 16. IX. 1991

以上9科60種を確認することができた。この中で、オジロサナエは倉敷市初記録、キイロヤマトンボは岡山県初記録である。しかし、重井(1981)により記録されているホソミイトトンボは、今回は見つからなかった。また、タイリクアカネ、サラサヤンマ、モータントンイトトンボについては今後発見される可能性があると思われる。

次にいくつかの注目すべきトンボについてコメントを添えておく。

#### 1. ムスジイトトンボ *Cercion sexlineatum* (SELYS)

セスジイトトンボと見分けにくい種類で、岡山県では、鴨方町と児島の阿津と通生で確認されているだけであるが、種松山北部の3つの池で確認することができた。

#### 2. オジロサナエ

*Stylogomphus suzukii* (OGUMA) [写真1:♀]

市内では初めての採集記録である。1992年11月28日に小溪流で、ヤマサナエやオニヤンマ、ニシカワトンボの幼虫とともに、本種の幼虫を見つけた。成

虫を採集するため、羽化の始まる5月ごろから時々幼虫のいた溪流に行っていたが、6月13日にやっと、羽化したばかりの成虫を見つけることができた。ほかにも由加山系で2か所、鴨ガ辻山系で2か所、種松山山系で1か所の小溪流で幼虫を見つけており、倉敷市南部に広く分布しているようである。また、1992年11月28日に採集した幼虫は、自宅で飼育したところ1993年6月16日から6月25日にかけて5匹が羽化した。

#### 3. コオニヤンマ

*Sieboldius albardae* SELYS [写真2:♀]

重井(1975)の浅原での報告はあるが、種松山山系では初めての記録である。1992年8月、小溪流でコヤマトンボ、ヤマサナエの幼虫に混じって、赤褐色で著しく扁平な本種の幼虫を見つけた。それから数日後、渓流沿いをクモの巣を避けるようにゆっくり飛んでいる大型のトンボを見たが、コオニヤンマかどうか確認できなかった。そして、同じ場所で1993年5月8日に採集した幼虫を飼育し、6月11日に羽化させることができた。由加山系で4か所、鴨ガ辻山系で1か所の渓流でも幼虫は確認しており、市内に広く分布しているようである。また、1993年7月31日午後3時ごろ渓流沿いで、繩張活動をしている雄を目撃している。

#### 4. アオヤンマ

*Aeschnophlebia longistigma* SELYS

全体的に緑色をしたヤンマで、以前はよく見られたが、重井先生のお話によると、最近数が減っているようである。種松山北部の池でマコモやヨシの間を縫うように飛ぶ姿を見ることができた。今回は西の奥上池で草かけに休んでいるところを採集した。

#### 5. マルタンヤンマ

*Anaciaeschna martini* (SELYS) [写真3:♂]

最近では、奥島(1993)の報告があるが、採集されることはまれである。1993年4月18日、種松山の池で、活発で黒っぽい本種の幼虫を見つけ、1匹だけ持ち帰り飼育した。羽化する5日前から、体の一部や、全身を水から出すようになり、頭を下にして水上に上がっていることが多くなった。そして、6月20日の朝、羽化した雌を確認した。同日に、幼虫を採集した池でも雄が羽化していた。ほかにも、種松山山系の4か所の池で幼虫を確認している。由加山系でも2か所の池で幼虫は確認しており、市内に広く分布しているようである。

#### 6. キイロヤマトンボ

*Macromia daimoji* OKUMURA [写真4, 5:♂]

近県の兵庫県と鳥取県では記録はあるが、岡山県

では初めての記録である。1992年8月11日に種松山の渓流で幼虫の脱皮殻を採集した。次の日、脱皮殻のあった場所で、足の長いクモのような本種の幼虫を見つけることができた。この小渓流は、集水域が約50haであり、種松山山系の中でも水量の多い方である。また、上流に人家や田畠がないため、家庭排水や農薬の流入からも免れている。幼虫のいた場所は下流部で、小渓流が小さな池に流れ込んでいるため、流れの幅が1~2mもあり、細かい砂底で水が緩やかに流れている。他のトンボの幼虫が枯れ葉などがたまっている落ち込みの底に多いのに対し、本種の幼虫は少し浅い砂地か、川岸近くの砂地の部分に多かった。いずれの場所も近くに灌木がある。ここで確認した幼虫は6匹で、いずれも終令であった。幼虫を採集したのは6月6日、羽化は6月18日の午前0時30分~2時30分の間であったが正確な時間は不明である。石田ほか(1991)によると、“キイロヤマトンボは、主に丘陵地や低山地を流れる清流の周辺に生息し、幼虫は緩やかな流れの砂底あるいは砂礫底の凹みにうずくまっている。比較的産地が限られているのは、好みとする川底の選択性の狭さによるものと考えられる。”ということである。また、関西トンボ談話会(1984)によると、“生息場所は近畿では、丘陵地または低山地を流れる河川の中流域で、川幅約10m~25m位のところである。”とある。つまり今まで種松山のような小渓流しかないところでの生息は報告されていない。そういう意味でも貴重な記録となった。

7. ハッショウトンボ *Nannophya pygmaea* RAMBUR  
点在する小湿地には数は多くないが細々と生息が

確認できた。しかし、1991年に確認した真弓池北部の湿地は、上流の池の水を抜いて堤防が改修され、コンクリートの溝で下流に水が流れるようにしたため、湿地が乾燥して、1992年には確認することができなかった。

#### 8. ミヤマアカネ

*Sympetrum pedemontanum elatum* (SELYS)

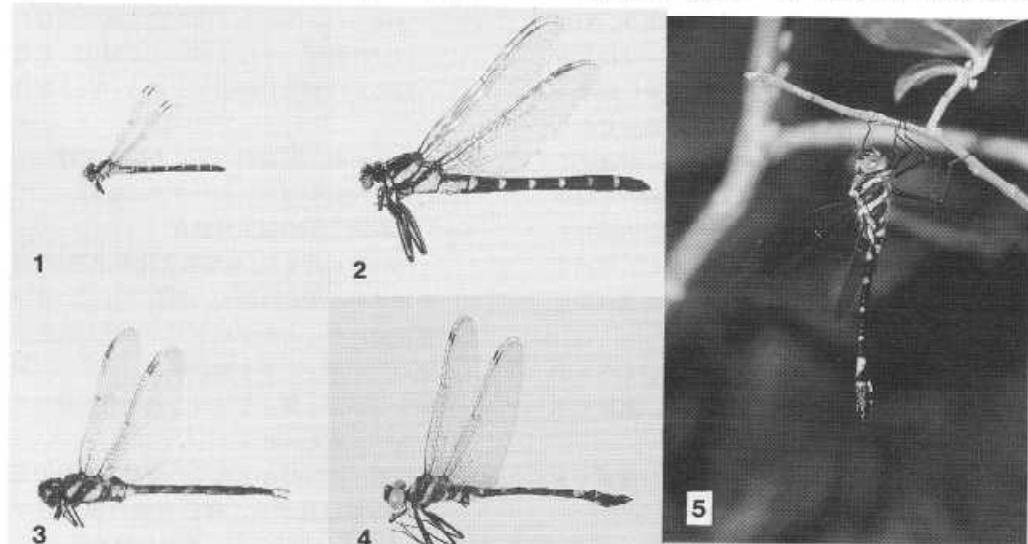
重井(1980)により報告されているが、同じ種松山の山頂に近い小盆地で今も生息していることが確認できた。1991年9月の台風の後であった。

自然環境がどんどん破壊され、生息場所がせばめられてもかかわらず、トンボたちは細々と生き残ってきた。種松山山系で今後行われる変化が、これ以上トンボたちを追いつめることなく、トンボたちの生きやすい豊かな自然がこれからも残り続けていくことを心より願って、種松山のトンボを今後も見守り続けていきたい。

最後になりましたが、いろいろとお話を聞かせて頂き、また資料を見せて頂いた倉敷昆虫館館長の重井博士に深くお礼を申し上げる。

#### 参考文献

- 関西トンボ談話会, 1984. 近畿のトンボ, pp.97~98, 奈良.
- 奥島雄一, 1993. マルタンヤンマ, オスの採集記録. しぜんしくらしき, (7): 9.
- 重井博, 1976. 福山山系のトンボ目. 倉敷の自然 福山山系, 林熊野神社山系, 下津井城山, pp.55~58.
- 重井博, 1981. 種松山山系のトンボ, 倉敷の自然 種松山山系, pp.47~51. 倉敷市衛生局環境部, 倉敷.



## 高梁川水系におけるアサギマダラの繁殖

河邊 誠一郎\*

1989年暮れの加茂川町でのキジョランの確認、そしてその葉裏からの幼虫と蛹の発見以来、山に入る度、キジョランの存在に気をつけてきた。しかし、草間及び小豆島の岩場にわずかな本数のキジョランを見つけて以外、アサギマダラの有力な繁殖地となりそうな生育場所は発見できなかった（ただ、小豆島で数本見つけたキジョランには、あのアサギマダラによる独特の丸い食痕が認められてはいた）。

1993年1月6日、子供を連れ総社市梶の谷にオオムラサキの幼虫を探しに行った。

この谷を2kmほど奥へ入ると、椿、榎、櫻、桜、コナラ、アベマキをはじめ、4~50年生の様々な樹木が生い茂り、植物相豊かな環境が残っている。

かつてあった人家も（3~4年前にはこの谷の最深部にも数件の人家があった）田圃も放棄され、山道は多少荒れ始めてはいるが、その分自然回復がすんでいる。加茂川町の渓谷程ではないが、杉や桧などの人工林に混り、広葉樹の自然林の豊富さが生物の生息に好適な環境を与えていた。谷の途中には自生ワサビ、イノシシのスタ場なども見られる。

谷のあちこちには榎が見られ、かなりの数のオオムラサキ、ゴマダラの幼虫を見つけることができた。

その帰り道に加茂川町のアサギマダラ生息地に似た環境の場所があった。渓流に沿って椿林が茂り、石がゴロゴロしていて、ほかの雑草、下草にとって生育条件の悪い半日蔭地である。そしてその場所に偶然キジョランが生育しているのを見つけた。30cm大から数mのものまで辺りには数十本のキジョランがはえている。小ぶりの株が多いものの、そこには紛れもないアサギマダラ幼虫の食痕があった。それも穴の回りには白い乳汁がまだ残っている葉も認められた。そのうち蛹の殻も見つかり、確かにここでアサギマダラが生息していたことを確認した。

そして夕方薄暗くなった谷合の、あるキジョランの葉裏によく1令幼虫2exs.を発見した。高梁川水系で初のアサギマダラ幼虫の発見である。

時間的に余裕がなかったせいもあり、当日確認でき

たのはこの2exs.だけではあった。キジョランの繁殖状況からみて、もっと広範囲にじっくり探したら、さらに多くの個体を見つけることができるものと思われる。このうちの1ex.を持ち帰り、現在倉敷の我が家で飼育観察中である。



1令幼虫と蛹殻（1993年1月17日撮影）

今回、1月初めにアサギマダラ蛹の抜殻と1令幼虫を発見できたことより、この高梁川中・下流域、総社市梶においても、加茂川町と同様の産卵、生育パターンをとっていることが考えられた。

（1993年3月投稿）

**追記** その後この幼虫は、1993年4月22日、倉敷市の我家の庭で蛹化し、同年5月9日無事羽化している。

そして更に、1993年5月8日、同所で産卵直後と思われるアサギマダラの卵（10数卵）を見つけた。このうち7卵を自宅庭で飼育し、5月14日の孵化、6月2日に全て蛹化、6月中・下旬にかけ羽化を観察している（約1か月半）。

**補記** この他、最近明らかになった記録

—1993年～1994年のアサギマダラの記録—

(1) 鳥取県大山の成虫の群れ

1993年8月9日、鳥取県大山樹木原（標高800m）のリフト（現在は撤去・移動されている）下の杉林北側にそったサワヒヨドリの花で吸蜜中の約50頭のアサギマダラを確認した。翌日の台風8号襲来をひかえ、強くなりはじめた風を避けて集まつたものと考えられる。

(2) 四国、香川県小豆島での発見と総社の記録

1993年11月28日、総社市梶の例の谷で、蛹1ex.及び2令幼虫3exs.を見つけた。

\* 〒710 倉敷市浜ノ茶屋二丁目3-33

この他、1994年5月5日には、この谷で倉敷自然史博物館友の会会員によって成虫が目撃されている。

1993年12月12日、第3番目（小豆島で初、香川県さらには四国でも初？）の生息地として、香川県小豆郡大部の北向き斜面のキジョランから、3令及び終令幼虫各々1ex.が見つけられた。

いずれの幼虫も、我家の北東向き無加温の部屋の窓際にて植木鉢飼育をし、観察を行った。この蛹の羽化は異常に遅く、1月18日になってやっと雌が現れた。そのうえ、今回、いずれの幼虫も正常な生育を示さなかった。1993年の異常低温などによる遅れも考えられた。小豆島の個体は12月28日及び1月14日に、共に蛹になる寸前（発育不十分なまま）で、また総社の2令個体は12月下旬から1月10日にかけて2令のままで死亡してしまった。

今回、十分成長した、より高令幼虫の耐寒性に関する観察・確認のチャンスを逃してしまい、次

回冬季への持ち越しとなってしまったことは残念であった。（総社の蛹はともかく、より温暖な気候の地、小豆島での12月下旬以降の高令幼虫との再会の可能性は高いと思われる）

### (3) 高梁市臥牛山（317m）における第4番目の越冬幼虫の発見

1994年3月29日松山城直下の斜面にキジョランの株多数を発見。

キジョランにはあちこちにアサギマダラ独特の食跡が見られたが、結局発見できたアサギマダラ幼虫は1令1匹のみであった。緯度と標高のはか、北から高梁川沿いに吹きおろして来る冬の北風のせいか、3月末にもかかわらずその幼虫の成長は著しく遅れていた。恐らく、アサギマダラ幼虫が越冬できる寒さの限界に近いものと考えられる。

なお、当地より高梁川をさらに20km遡った草間台地のキジョランからは、未だ幼虫越冬の確認はできていない。

## おとしみ

### 川上町と備中町での イシガケチョウの記録

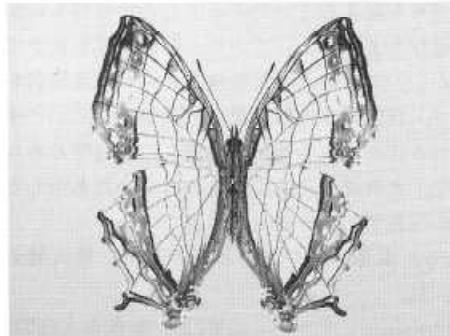
小路嘉明

筆者は、川上郡川上町ならびに備中町でイシガケチョウ *Cyrestis thyodamas* を採集・目撃した。本種の分布動態を知る一資料として、下記のとおり報告する。

#### 〈データ〉

2頭目撃、岡山県川上郡備中町二又瀬、Jun. 9, 1992

1♂採集（写真）数頭目撃、岡山県川上郡川上町二又瀬、Jun. 9, 1992



備中町二又瀬では、全通橋付近の道路上を飛翔するのを目撃した。採集はできなかったが、独特の滑空飛翔を行っていたので、同定に問題はない。また、頭数については、1頭が飛び去った直後、別の方向から2頭目が現れたので、同一個体ではないと思われた。

川上町二又瀬ではウツギに訪花中の個体を採集した。このほか川沿いを飛翔する個体がしばしば見られた。同一個体を重複して観察している可能性もあるが、数頭はいたものと思われる。

近年、瀬戸内沿岸地方や山陰地方では分布拡大・個体数増加の傾向にあり、越冬も確認されているが、このような山間部において一度に複数の個体が見られたことを奇異に思い、中村具見氏にお尋ねしたところ、今年（1992年）は吉備高原の渓谷地帯で本種が多く見られたとのことであった。ご教示いただき、発表を勧められた中村具見氏にお礼申し上げる。

（〒567 英木市総持寺1-13-27 蝶研出版内）

## 岡山県のコメツキムシ追録 V

渡 辺 昭 彦

県内のコメツキムシも同好諸氏のご好意により多くの標本がもたらされ、さらに知見が深まりつつある。県内で未記録の種がいくつか確認できたのでここに報告しておく。

159. *Actenicerus giganteus* KISHI

ヨコズナシモフリコメツキ

1♀ 川上郡穴門山神社 Jul. 25, 1992 (渡辺和夫採集)

邦産本属中最も大型の種であるが、今回得られた個体も25mmを越える大型個体であった。*A. orientalis* ヒメシモフリコメツキに一見似るが、大型である他、灰色の微毛を混じえず濃淡2色の褐色微毛で覆われること、銅色の金属光沢が強いことなどで、さほど同定は困難でない。

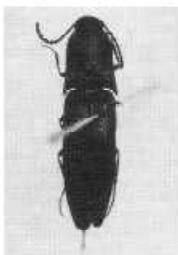
基産地は、東京の高尾山であり既知産地は限られている。中国地方では最近になって大平・中村により広島県より記録されているだけである。

160. *Megapenthes kurosawai* W. SUZUKI, 1986

クロサワツヤケシコメツキ

1♀ 英田郡西粟倉村若杉 Jun. 4, 1989 (植田千弘採集) [写真]

この個体は、ナナカマド花上より採集されたとのことである。本誌124号でも述べたが、同属のムネアカツヤケシコメツキも同所的に産するので注意が必要である。

161. *Gamepenthes similis* (LEWIS)

ヒメキマダラコメツキ

1♀ 川上郡穴門山神社 Jul. 25, 1992 (渡辺和夫採集)

少ない種で、山地性の本種が当地のような低山地で得られたのは少々意外であった。なお、本種は「岡山県の昆虫」(1978)にデータなしの和名のみで採録されているが、筆者は今まで岡山県産の記録も標本も確認できていない種である。

なお、文末ではあるが貴重な標本を譲られた渡辺和夫、植田千弘の両氏には深く感謝する。

## 参考文献

- (1) 大平仁夫・中村慎吾 (1992) 広島県のコメツキムシ類の記録(1). 比婆科学, 153: 9-11
- (2) 倉敷昆虫館 (1978) 岡山県の昆虫

(〒701-01 倉敷市上東1050-1)

## ヨドシロヘリハンミョウの記録

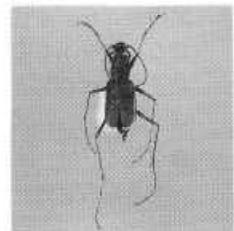
赤 枝 一 弘

本種は岡山県下では絶滅したと考えられている種であるが、筆者がかつて吉井川河口で採集し、倉敷昆虫館にシロヘリハンミョウとして展示したもの(現在も展示されている)が本種であるのでここに記録しておく。

*Cicindela yodo* NAKANE ヨドシロヘリハンミョウ

岡山市西大寺雄川橋, 10. Ⅷ. 1965

本種についてはそれ以前に西大寺在住の久山氏が採集された標本を見たことがあり、自分でも採りたいと思っていたところ、はからずも1965年に蛾の灯火採集をしていて飛来していた本種を採集したものである。



なお、本種の採集地についてであるが、ラベルには河本橋とし、また西大寺のスズメガを報告した際も河本橋(雄川橋)として報告しており、これは「岡山県の昆虫」にも引用されている。ところで、この橋は雄神地区河本と豊地区川口との間にかかるのでここに訂正させていただく。なお本種は吉井川東岸の川口側で採集したことを付記しておく。

(〒704 岡山市西大寺中野734-4)

## 倉敷で採集したキバネツノトンボの記録

青 野 孝 昭

キバネツノトンボ *Ascalaphus ramburi* MACLACHLAN はツノトンボ科に属する顕著な特徴をもった昆虫である。加藤正世著「趣味の昆虫採集」のカラーページを飾っていた美しい昆虫の一つとして、ホタルの季節に初めて自分の手で採集した時の興奮は今も忘れられないが、標本は残念ながら虫害を受け、今は無い。しかも、メモを記入していたノートもその年のものが手元から離れたままになっており、採集月日も定かでない。

しかし、ここ数十年県南地方からの採集報告を見ないので、自然の草地がつぎつぎと消失していく中、草原性の本種が県南平地から絶滅した可能性もありうるを考え、倉敷市の平地にも生息していたあかしとして、ここに採集データを記しておきたい。

1 ex., 倉敷市北浜町, 1949年初夏, 燈火飛来中を筆者採集。

(〒710 倉敷市大内937-8)

## 岡山県から採集した甲虫類の記録

山 地 治\*

岡山県下から採集した甲虫類のうち記録の少ないとと思われる若干の種について報告する。記録の発表を許された福田元信氏、貴重な採集品を提供下さった安東瑞夫氏・伊藤國彦氏・植田千弘氏・竹内幸夫氏・那須敏氏・野嶋宏一氏・三宅誠治氏・渡辺昭彦氏・渡辺和夫氏に感謝申し上げる。また、佐々治寛之先生・笠原須磨夫氏・水野弘造氏には同定の便宜を計って頂き、ここにお礼申し上げる。なお、学名・和名は原色日本甲虫図鑑II～IVに従い、採集者名は姓だけにさせていただき、筆者等頻繁に出てくる採集者名は山地-Y・野嶋-N・渡辺昭彦-AW・渡辺和夫-KWと略記した。一部の種については写真を添付したが、その番号は学名の前の番号に対応している。

1. *Nebria chinensis* BATES マルクビゴミムシ  
4 exs. 総社市水内橋（高梁川河原） 28. IV. 1988  
Y  
1 ex. 岡山市竜ノ口 25. V. 1988 植田採集

2. *Broscosoma doenitzi* (HAROLD)  
ミヤマヒサゴミムシ  
1 ex. 芳井町蛇の穴 1. V. 1994 AW  
洞窟入口付近の岩のコケ上で採集した。成羽町の天  
神山でも得られているらしいが、主にブナ帯に分布  
している種がこのような低標高地で採集されたこと  
は、珍しいことと思われる。

3. *Armatocillenus yokohamae* (BATES)  
キバナガミズギワゴミムシ  
1 ex. 岡山市西大寺新地（吉井川） 22. VII. 1989  
Y  
キバネキバナガゴミムシに混じって採集していたも  
ので最近になって気付いたので報告しておく。

4. *Colpodes aurelius* BATES チビモリヒラタゴミムシ  
1 ex. 上齋原村辰巳峰 6. VIII. 1989 Y  
那須（1991）においてチビモリヒラタゴミムシ？と  
して報告したのは次種であったので訂正しておく。

5. *C. modestior* BATES イクビモリヒラタゴミムシ  
1 ex. 日生町鹿久居島 9. VI. 1991 Y

6. *C. hakonus takachihoi* (HABU)

- ・ハコネモリヒラタゴミムシ
  - 1 ex. 川上村熊谷 2. X. 1988 Y
  - 1 ex. 新庄村毛無山 4. V. 1989 Y
  - 1 ex. 西粟倉村若杉峠 25. VI. 1898 AW
  - 1 ex. 加茂町倉見 9. VIII. 1990 N
  - 1 ex. 上齋原村三が上（山上山） 26. V. 1991  
Y
  - 1 ex. 奈義町滝山 22. IX. 1991 Y
  - 1 ex. 東粟倉村後山 31. V. 1993 N
  - 1 ex. 新庄村毛無山 29. V. 1993 N
  - 1 ex. 中和村山乘山 4. VIII. 1991 Y
  - 1 ex. 新庄村土用白馬山 2. X. 1993 三宅採集
  - 1 ex. 神郷町三国山 5. V. 1994 Y
  - 2 exs. 川上村森山大山道路 17. VI. 1994 Y
- 本種は後山産の標本を笠原氏に同定していただい  
た。

7. *Parabroscus crassipalpis* (BATES)

- ・フトクチヒゲヒラタゴミムシ
- 1 ex. 中和村山乘山 6. VIII. 1988 AW 笠原氏  
同定
- 神郷町での記録がある。

8. *Synuchus callitheres* (BATES)

- ・キアシツヤヒラタゴミムシ
- 1 ♀, 岡山市牟佐（旭川左岸） 4. IX. 1993 Y
- 4 ♀, 奥津町井坂 26. IX. 1993 三宅採集  
倉敷市での記録がある。

9. *Dischissus japonicus* (ANDREWES)

- ・ニッポンヨツボシゴミムシ
- 1 ex. 奥津町井坂 23. IX. 1990 Y  
県南での記録がある。

10. *Epomis nigricans* (WIEDEMANN)

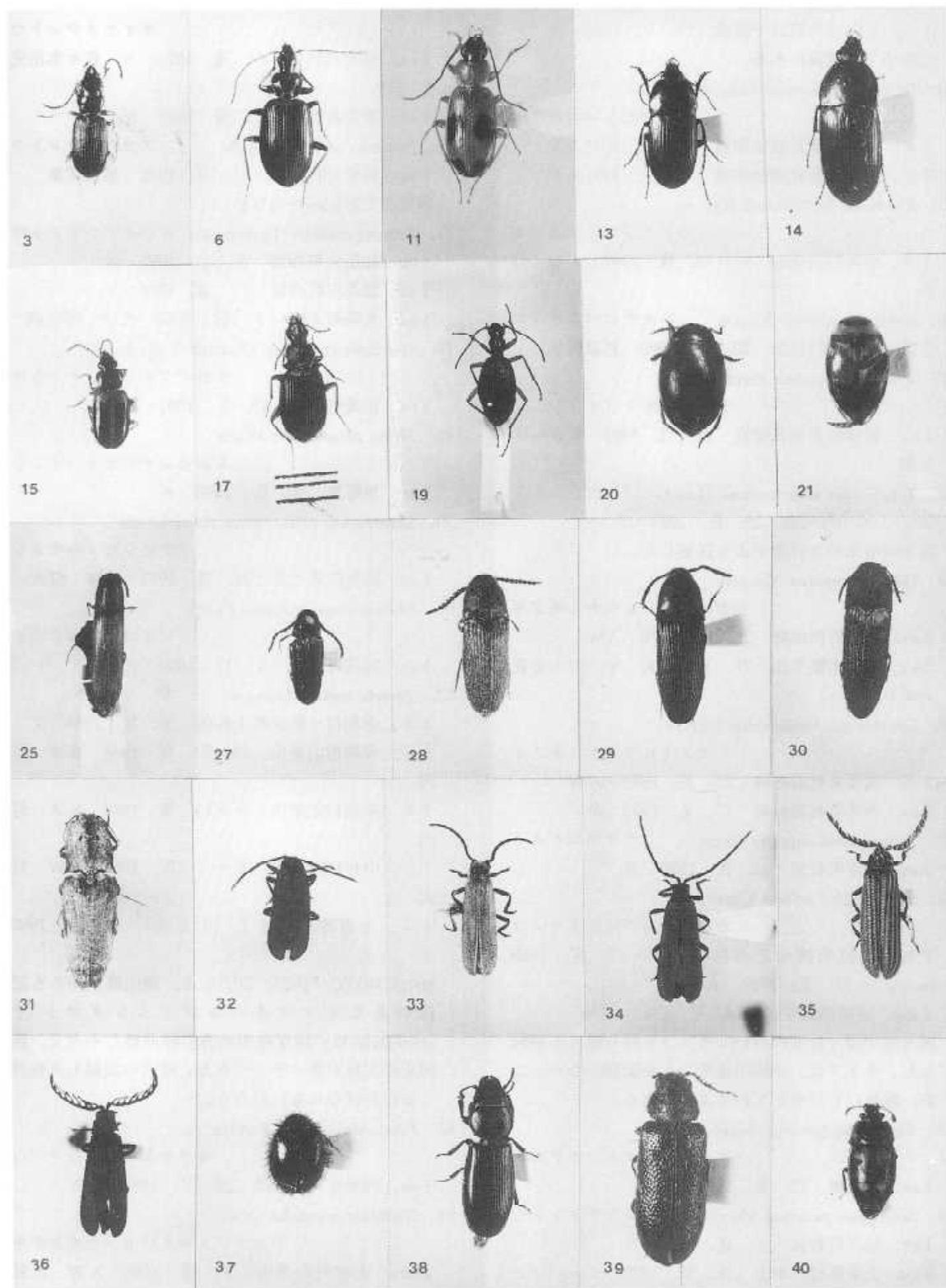
- ・オオキベリアオゴミムシ
- 2 exs. 賀陽町新谷 6. VII. 1986 Y
- 2 exs. 中和村津黒高原 18. V. 1991 Y  
賀陽町では夜間灯火の下にきていた。県南の古い記  
録がある。

11. *Badister pictus* BATES ヨツモンカタキバゴミムシ

- 1 ex. 加茂川町高富 18-19. VIII. 1990 KW 灯  
火

\* 〒701-12 岡山市芳賀5116-11

12. *Chlaenius tetragonoderus* CHAUDOIR  
ムナビロアトボシアオゴミムシ  
3 exs. 芳井町石草 19-20. VII. 1985 KW 灯火  
3 exs. 備中町長屋 25-26. VII. 1985 KW 灯火  
1 ex. 富村のとろ原キャンプ場 27-28. VII. 1985  
KW 灯火  
新庄村で採集されている。
13. *Oodes heropoides tokyoensis* HABU  
ニセトックリゴミムシ  
3 ♂ 4 ♀, 加茂町五輪原湿原 6. VI. 1993 N  
笠原氏同定
14. *Lanchnocrepis prolixa* (BATES) トックリゴミムシ  
1 ex. 岡山市中島(百間川) 23. VI. 1990 伊藤  
採集 笠原氏同定
15. *Perigona acupalpaoides* BATES  
カタボシホナシゴミムシ  
1 ex. 中和村津黒高原 10. VII. 1993 Y  
3 exs. 奈義町滝山 8. XI. 1992 N
16. *Odacantha aegrota* (BATES)  
チャバネクビナガゴミムシ  
1 ex. 中和村山乘山 21. VII. 1987 竹内採集  
2 exs. 岡山市西大寺新地(吉井川) 15. VII. 1989  
Y 笠原氏同定  
2 exs. 岡山市桜橋(旭川) 6. VII. 1991 Y  
1 ex. 岡山市桜橋(旭川) 9. VIII. 1992 Y  
2 exs. 岡山市牟佐(旭川) 4. IX. 1993 Y  
新地、桜橋、牟佐では増水時のゴミ中から採集した。
17. *Amphimenes piceolus* BATES  
カワツブアトキリゴミムシ  
4 exs. 勝北町奥津川 28. XII. 1993 福田採集  
樹皮下で越冬しているものを採集。
18. *Brachinus incomptus* BATES ヒメホソクビゴミムシ  
1 ex. 旭町里 19. VI. 1990 N  
岡山市でも採集されている。
19. *B. nigridorsis* NAKANE セグロホソクビゴミムシ  
6 exs. 加茂町根知咲 26. IX. 1992 Y トラップ  
1 ex. 上齋原村赤和瀬 21. V. 1994 Y
20. *Hydrovatus acuminatus* MOTHSULSKY  
コマルケシゲンゴロウ  
1 ♂ 1 ♀, 吉井町光木 29. VIII. 1992 KW
21. *Laccophilus kobensis* SHARP コウベツブゲンゴロウ  
1 ex. 加茂川町高富 18-19. VIII. 1990 KW 灯火
22. *Hydaticus rhantoides* SHARP  
ウスイロシマゲンゴロウ  
2 exs. 牛窓町蕪崎 1. IV. 1990 Y  
3 exs. 岡山市久々井 15. VII. 1990 Y  
倉敷市鴨が辻山での記録がある。
23. *Liodesmus mugacephalus* (GSCHWENDTNER)  
チャイロチビゲンゴロウ  
1 ex. 岡山市中島(百間川) 18. IV. 1992 Y  
犬島と倉敷市の記録があるが、中島はかなり内陸の  
記録となる。人工の四角い窪地の水たまりから採集  
した。
24. *Platycerus acuticollis akitai* FUJITA  
キンキコルリクワガタ  
1 ♂, 新見市西方布原阿哲岐, 4. V. 1993 KW  
1 ♂, 新庄村毛無山, 14. V. 1994 Y  
岡山での記録は少ない。とくに阿哲岐はブナ帯から  
遠く離れた記録で注目される。
25. *Isorhipis foveata* HISAMATU  
ホソナガコメツキダマシ  
1 ex. 鏡野町花知山 20. V. 1962 竹内採集
26. *Bioxylus japonensis* (FLEUTIAUX)  
ヒメフトコメツキダマシ  
8 exs. 上齋原村三が上(山上山) 7. VII. 1990  
Y
27. *Xylobius rufomarginatus* FLEUTIAUX  
ツヤヒメコメツキダマシ  
3 exs. 上齋原村三が上(山上山) 7. VII. 1990  
Y
28. *Fryamus japonicus* HISAMATU  
フトヒゲコメツキダマシ  
1 ex. 東栗倉村後山 20. VII. 1990 那須採集
29. *Euryptychus vicinus* FLEUTIAUX クロコメツキダマシ  
1 ex. 蒜山大山道路 20. VII. 1991 Y
30. *Torigaia bicolor* HISAMATU et M. SATO  
メスグロコメツキダマシ  
1 ♀, 上齋原村三十人が仙附近 2. VIII. 1986 Y  
1 ♀, 東栗倉村後山 20. VII. 1990 那須採集
31. *Paracalais larvatus pini* (LEWIS)  
オオフタモンウバタマコメツキ  
1 ex. 笠岡市神島神島浅王 12. VII. 1993 安東採集  
近県でも記録があるが、南方系の代表的な種である。
32. *Libnetis granicollis* (KIESENWETTER)  
コクロハナボタル  
1 ex. 旭町里 22. VI. 1990 N  
1 ex. 加茂町青柳 5. VII. 1990 N



33. *Plateros koreanus* KLEINE チョウセンハナボタル  
1 ex. 笠岡市笠岡湾干拓地 29. V. 1992 N  
広島市での記録がある。
34. *Dictyoptera gorhami* (KÖNÖ)  
メダカヒシベニボタル  
1 ♂, 加茂町倉見根知林道 28. V. 1991 N  
1 ♂, 加茂町倉見根知林道 30. V. 1991 N
35. *Xylobanus basivittatus* NAKANE  
カタスジアミメボタル  
1 ♀, 中和村山乗山 11-12. VII. 1987 KW 灯火
36. *Cautires hyonosen* NAKANE ニセクロベニボタル  
1 ♂, 東粟倉村後山 20. VII. 1990 那須採集
37. *Trinodes rufescens* REITTER  
チビケブカカツオブシムシ  
1 ex. 賀陽町吉川八幡宮 12. VI. 1993 KW 叩き網
38. *Tenebroides mauritanicus* (LINNÉ) コクヌスト  
2 exs. 熊山町可真 29. IX. 1993 Y  
精米所の米粉クズの中より採集した。
39. *Celsus elongatus* NAKANE  
ナガコケシジョウカイモドキ  
1 ex. 横中町西油野 25. IV. 1976 AW  
1 ex. 高梁市臥牛山 9. V. 1990 Y カエデ花上より
40. *Epuraea quadrimaculata* REITTER  
モンキヒラタケンキスイ  
1 ex. 西粟倉村若杉峠 25. VI. 1989 AW  
1 ex. 西粟倉村若杉峠 17. X. 1992 Y
41. *Serratomaria vulgaris* SASAJI ササマルキスイ  
1 ex. 加茂町倉見 12. IX. 1990 N
42. *Megarodacne bellula* LEWIS  
カタボシエグリオオキノコ  
1 ex. 総社市国分尼寺跡 larva - 17. IX. 1989  
emerg. - 11. X. 1989 AW  
2 exs. 高梁市臥牛山 16. V. 1988 AW  
国分尼寺跡では幼虫のいるキノコを持ち帰って羽脱した。今まででは、中国山地帯でしか記録がなかったが、低地にも分布しているようである。
43. *Thyroderus porcatus* SHARP  
アナムネカクホソカダムシ  
1 ex. 旭町里 22. II. 1990 N
44. *Serangium punctum* MIYATAKE ズクロツヤテントウ  
1 ex. 加茂町倉見 1. IX. 1990 N  
1 ex. 上斎原村三が上 9. V. 1987 Y
45. *Pseudoscytus pilicrepus* (LEWIS)  
オオヒメテントウ  
1 ex. 加茂町倉見 1. VII. 1991 N 佐々木治先生同定  
1 ex. 加茂町倉見 2. VII. 1991 N
46. *Rodoria concolor* (LEWIS) アカヘリテントウ  
1 ex. 東粟倉村後山 21. VI. 1992 那須採集  
新見市での記録がある。
47. *Oenopia scalaris* (TIMBERLAKE) ムツキボシテントウ  
1 ex. 加茂川町高富 9. V. 1990 N  
1 ex. 加茂川町高富 27. VII. 1990 N  
1 ex. 賀陽町大岩 9. XI. 1991 KW 叩き網
48. *Micraspis kiotoensis* (NAKANE et M. ARAKI)  
クロスジチャイロテントウ  
1 ex. 加茂町倉見 15. V. 1991 N
49. *Stibus polygramma* FLACH  
エムモンチビヒメハナムシ  
1 ex. 旭町里 30. IX. 1990 N
50. *Merobrachys bimaculatus* (MATUMURA)  
フタホシヒメハナムシ  
1 ex. 湯原町霞ヶ丘 24. VIII. 1991 AW 灯火
51. *Olibrus consanguineus* FLACH  
トビイロヒメハナムシ  
1 ex. 加茂町倉見 1. IX. 1990 N
52. *Tarpela lewisi* MASUMOTO  
1 ♀, 中和村 奥津町上杉山 30. VI. 1984 Y  
1 ♀, 中和村山乗山 19-20. VII. 1986 KW 灯火  
1 ♀, 中和村山乗山 9-10. VIII. 1986 KW 灯火  
1 ♂, 中和村山乗山 6-7. IX. 1986 KW 灯火  
1 ♀, 上斎原村三が上 (山上山) 7. VII. 1990 Y  
MASUMOTO (1993) によると、岡山県下からも記録のあるヒメマルムネゴミムシダマシ (*T. eleguntule*) は、伊豆箱根地方の特産種だそうで、誤同定の記録が多いそうである。県内の記録も再検討しなければならないだろう。
53. *Prostominia lewisi* REITTER  
ヒラタクチキムシダマシ  
1 ex. 西粟倉村若杉峠 29. V. 1988 AW
54. *Enchodes orientalis* NIK  
ヒゲブトキイロホソナガクチキ  
4 exs. 中和村山乗山 9. VIII. 1986 AW 水野氏同定

55. *Microtonus takaosanus* NOMURA

タカオヒメナガクチキ

2 exs. 御津町金川 31. V. 1975 Y; AW 水野氏同定

1 ex. 川上村上蒜山 15. VI. 1985 Y 水野氏同定

56. *Melandrya* sp. (nr. *shimoyamai*)

ヒメルリナガクチキ

1 ex. 東粟倉村後山 3. VII. 1992 植田採集

水野弘造氏によるとルリナガクチキ (*M. shimoyamai*) の近似種で未記載種であるが、すでによく知られた種のようなので報告しておく。岡山では美田村での記録がある。

57. *Hoshihananomia perlata* (SULZER)

シラホシハナノミ

2 exs. 西粟倉村若杉峠 28. VII. 1984 Y

58. *Cryptocephalus limbaticornis* JACOBY

キスジツツハムシ

1 ex. 賀陽町吉川国立少年自然の家 18. VII. 1993 KW

59. *Potaninia cyrtonoides* (JACOBY)

アカソハムシ

1 ex. 加茂町五輪原湿原 6. VI. 1993 N

1 ♂ 2 ♀, 西粟倉村若杉峠 4. VI. 1994 AW  
若杉峠ではウワバミソウ葉上に止まっていた。60. *Lochmaea capreae* (LINNÉ)

ズグロアラメハムシ

1 ex. 上齋原村三が上 28. V. 1989 Y

61. *Pyrrhalta seminigra* (JACOBY)

カエデハムシ

1 ex. 川上村蒜山高原 22. VII. 1993 福田採集

62. *Chujoa uetsukii* (CHŪJŌ)

ウエツキブナハムシ

1 ex. 川上村鬼女台 10-11. VII. 1991 KW 灯火採集

1 ex. 川上村鬼女台 7-8. IX. 1991 KW 灯火採集

63. *Apophylia viridipennis* (JACOBY)

アオバホソハムシ

1 ex. 川上村蒜山高原 22. VII. 1993 福田採集

64. *Luperomorpha pryeri* (BALY)

クビアカトビハムシ

1 ex. 落合町関 18-19. VII. 1987 KW 灯火

65. *L. collaris* (BALY)

ムネアカオオトビハムシ

2 exs. 中和村山乗山 15. VI. 1991 Y

1 ex. 加茂町倉見 28. V. 1991 N

1 ex. 上齋原村宮ヶ谷 3. V. 1992 KW

66. *Longitarsus holsaticus* (LINNÉ)

イヌノフグリトビハムシ

1 ex. 旭町里 28-29. VII. 1990 KW 灯火

1 ex. 備中町角子惣田 24-25. VII. 1992 KW  
灯火67. *Sphaeroderma nigricolle* JACOBY

アカバネタマノミハムシ

1 ex. 賀陽町大岩 4. V. 1991 KW 叩き網

1 ex. 建部町品田 17. VIII. 1991 KW 叩き網

68. *S. apicale* BALY

ツマキタマノミハムシ

1 ex. 岡山市本陣山 21. IV. 1990 N

1 ex. 吉井町光木 13. VI. 1992 KW

69. *Auletobius submaculatus* (SHARP)

モンケシツブチョッキリ

1 ex. 新見市西方布原阿哲峠 4. V. 1993 KW

70. *Deporaus vossi* SAWADA

キバライクビチョッキリ

1 ex. 奥津町上杉山 30. VI. 1984 Y

71. *D. eumegacephalus* SAWADA

1 ♀, 新庄村毛無山 11. VI. 1983 Y

1 ♂, 中和村山乗山 4. VII. 1987 Y

1 ♂, 上齋原村三十人が山 6. VII. 1991 Y

72. *D. minimus* KONO

チビイクビチョッキリ

1 ex. 佐伯町宇生 29. VII. 1992 KW 叩き網

73. *Paradeporaus parasiticus* KONO

ヤドカリチョッキリ

1 ex. 上齋原村三が上 18. V. 1974 Y

74. *Involvulus apertus* (SHARP)

ルリテオチョッキリ

1 ex. 中和村山乗山 11. VII. 1993 KW

75. *I. cylindricollis* (SCHLSKY)

ツツムネチョッキリ

3 exs. 加茂町五輪原湿原 7. VI. 1986 Y

76. *Mylocerus abnormalis* SHARP

ヒゲブトクチブトゾウムシ

1 ex. 加茂町倉見 1. IX. 1990 N

77. *Galloisia inflata* HUSTACHE

サビマルクチゾウムシ

1 ex. 加茂町倉見 10. VII. 1990 N

1 ex. 落合町 16. VII. 1991 福田採集

78. *Dorytomus urakaoae* (MORIMOTO et ENDA)

ポブライネゾウモドキ

1 ex. 川上村湯船渓谷 21. VI. 1992 KW 叩き網

79. *Dinorhopala takahashii* (KONO)

タカハシトゲゾウムシ

1 ex. 加茂町倉見 14. V. 1991 N

80. *Anthonomus rectirostris* (LINNÉ)

オビモンハナゾウムシ

1 ex. 岡山市後楽園 27. I. 1994 福田採集

樹皮下で越冬中を採集

81. *Curculio cerasorum* (PAYKULL)

キマダラシギゾウムシ

1 ex. 川上村蒜山高原 20. VII. 1993 福田採集

82. *Centrinopsis nitens* ROELOFS

ツヤチビヒメゾウムシ

2 exs. 落合町日名神の毛 26. V. 1991 KW



41



44



45



47



48



49



50



52



54



55



56



57



58



59



60



61



64



65



66



67



68



70



71



73



74

1 ex. 川上町穴門山神社 23. V. 1993 KW 叩き網

1 ex. 川上町穴門山神社 12. VI. 1993 KW 叩き網

1 ex. 加茂町倉見 28. V. 1991 N

83. *Pissodes obscurus* ROELOFS クロキボシゾウムシ

1 ex. 加茂川町上野西 5. IX. 1992 KW 叩き網

84. *Dyscenus cibratus* (ROELOFS)

コクロアナアキゾウムシ

1 ex. 勝田町右手峠 17. VI. 1990 福田採集

85. *Otibazo* sp. オチバゾウムシの一種

1 ex. 高梁市臥牛山 9. V. 1990 Y  
落ち葉ふるいで採集した。

86. *Seleuca chujoi* VOSS

チエウジョウアナアキゾウムシ

1 ex. 中和村津黒高原 10. VII. 1993 KW 叩き網

87. *Cryptoderma fortunei* (WATERHOUSE)

オオシロオビゾウムシ

1 ex. 新見市豊永 10. VI. 1989 福田採集 ワラビ葉上より

1 ex. 岡山市牟佐 2. IX. 1993 植田採集

1 ex. 岡山市牟佐 1. VIII. 1994 植田採集

岡山県からは古い記録がある。

#### 参考文献

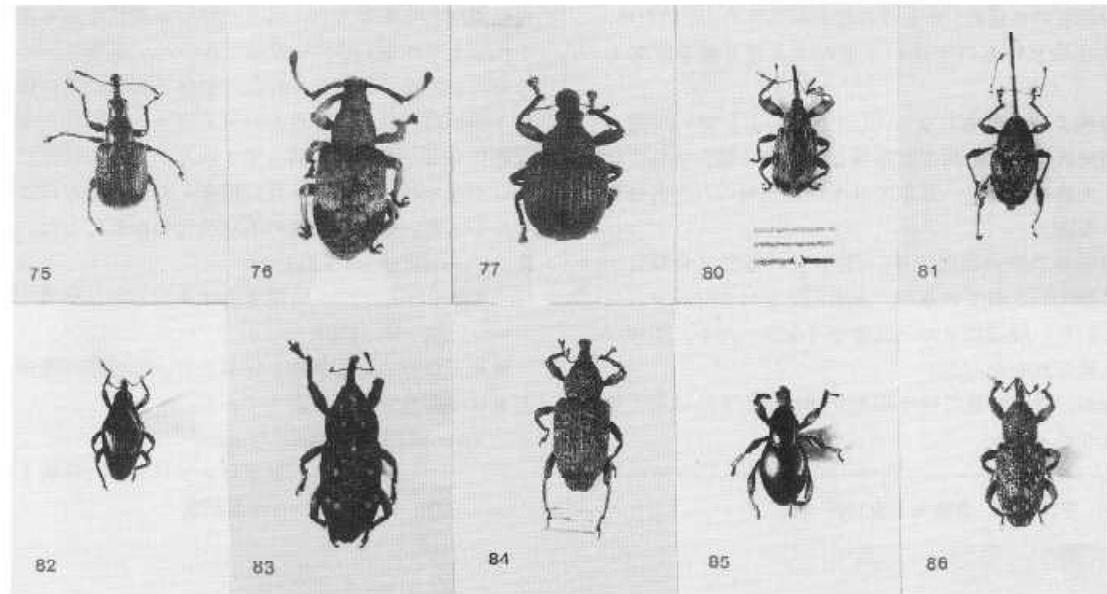
保育社:原色日本甲虫図鑑(II)~(IV)

那須敏(1991):鹿久居島調査報告、みちしるべ(12)  
54-55

水野弘造(1992):日本産ナガクチキムシ科甲虫都道府県別分布表、関西甲虫談話会資料 第三号

Yoshihisa SAWADA(1993):A Systematic Study of the Family Rhynchitidae of Japan (Coleoptera,Curculionoidea), Humans and Nature, No.2,1-93

MASUMOTO,K. (1993):Notes and Descriptions of Japanese Tenebrionidae, VI., Ent. Rev. Japan Vol X L VIII No.2,127-136



## おとしふみ

### 岡山県内のフトキクスイモドキ カミキリの記録 山 地 治

フトキクスイモドキカミキリ *Asaperda silvicultrix*  
TOYOSIMA et IWATAは最近、京都・大阪・鳥取の標本で

記載された種であるが、福田元信氏が岡山県内で採集された標本を確認したので報告しておく。

1 ex., 勝北町奥津川, 23. V. 1991, 福田元信採集

末筆ながら記録の発表を快諾された福田氏にお礼申し上げる。 (〒701-12 岡山市芳賀5116-11)

## 蒜山高原の興味深いハムシ

渡 辺 昭 彦\*

蒜山高原では、大陸と関係が深いと考えられているウスイロヒョウモンモドキ、フサヒゲルリカミキリ等特色ある草原性の昆虫の分布が知られている。

筆者が、この蒜山高原の一部である真庭郡川上村上徳山において採集したハムシの中に興味深い種が何種か確認できたので報告する。なお、このうち2種類については食草が未記録、あるいは今まで誤認されてきたものと思われる所以、この点についても記録しておきたい。

1. *Smaragdina mandzhura* (JACOBSON)

ルリナガツツハムシ [写真1]

5 exs., 22. VI. 1991…内2個体今坂同定

全個体ヤマハギより採集した。道端のヤマハギに交尾中のものを含め、かなりの数がみられた。そのため、あまり珍しいものと思わずその中より5頭を採集した。

当地よりの標本によって、「月刊むし」誌に平野・上田両氏により本州未記録種として既に報告されている。大陸に分布し、日本では九州と当地のみが既知分布となる。

原色日本甲虫図鑑(IV) (保育社)等では食草はススキ類と記されているが、上記のようにヤマハギについていた。周辺にススキは少なくなかったが、本種は全く見られなかった。

なお、7月27日に再度現地を訪れたときには全く見られなかった。

\*〒701-01 倉敷市上東1050-1

2. *Cassida lineola* CREUTZER

クロスジカメノコハムシ [写真2]

3 exs., 22. VI. 1991…内1個体今坂同定

2 exs., 27. VII. 1991

全個体オトコヨモギより採集した。珍しい種のようで、西日本での記録はないようである。また、食草について書かれているものは見あたらず、今までのところ未確認と考えられる。

6月22日に採集した成虫はいずれも赤味の強い個体であった。また、成虫と共に幼虫と思われるものが新芽に見受けられた。

採集後日、種名の判明と共にこの種の食草が未記録と思われることが判り、食草の確認のため再度7月27日に現地に立ち寄った。当日食草は未開花ながら花穂が出ており同定しやすい状態であった。さらに、これらから新成虫と思われる緑色の個体と赤味の薄い個体各1頭が得られた。体色からテネラルと思われたが体は硬化していた。持ち帰って1か月あまりの飼育で赤味はかなり増したが、6月に採集した個体ほどにはならなかつた。その後、餌の不足のためか死亡した。

3. *Galeruca vicina* SOLSKY

アザミオオハムシ [写真3]

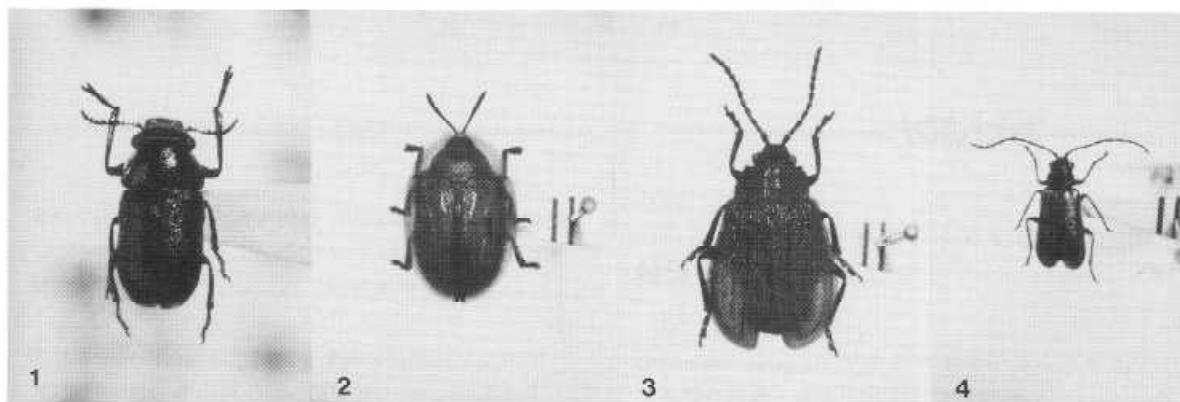
lex., 22. VI. 1991

地表を歩いている個体を採集した。この種の既知の分布は中部地方以北のようである。

4. *Apophylia viridipennis* (JACOBY)

アオバホソハムシ [写真4]

lex., 22. VI. 1991…今坂同定



中部地方以外からは初の記録と思われる。

なお、当地では普通種でも独特の変異傾向の見られる種があり、たとえばヤマハギにはフジハムシヒメサルハムシが少なからず見られるが、フジハムシはほとんどの個体が黒化しており全体黒い個体も少なくないし、ヒメサルハムシでは体上面は黒で肢や触角が黄褐色の個体ばかりである。他の科の甲虫も含めて興味深い。

## おとしふみ

### ズボンに止まったコエゾゼミ

佐藤國康

1992年の8月、岡山県北の地に重井博先生に同行させていただく機会に恵まれた。散策中のこと、植林のスギの梢に、「ギィギィギィギィギィ…」とエゾゼミの声を教わった。このエゾゼミ、西日本では、標高700m以上の高地の針葉樹の高いところに生活しているとのお話を。双眼鏡を手にし、一目姿をと頑張ったが、むなしい努力に終わった。

そして、さらに標高の高いブナ林には、これに近縁のコエゾゼミがいる。しかし、生捕は困難、生体の写真撮影も困難とのお話を耳にする。「コエゾゼミなら、生体の写真があります。一度見て下さいませんか?」と。

研究室にもどり、古い写真帳から、一枚の写真を捜しだした。記録をみると『“コエゾゼミ”，1981年(昭56)7月31日、森林公園おたからこう湿原北』とあった。

この日は、湿原の調査の目的で岡山県立森林公園を訪れていた。天候は曇り、雨が少しづつ始めた。「小休止」と、腰をおろそうとした矢先、一匹のセミが飛来し、恩師故松本邦夫先生の膝に止まった。「動かないで」と、無理な姿勢ですわる動きをとめていたとき、写真を撮影した(写真)。撮り終わるまで、雨粒の跡のあるズボンに止まっていたが、セミはいざこかへ飛び去っていった。

図鑑の写真と比べつつ、中胸背側中央に変形W字紋があり、①前胸背側の後縁近くにある黄褐色の横帯が外方で中断していること、②腹部の背側に黄褐色の横帯があること等により、コエゾゼミであることに間違いないとしたものの、なお不安だったので、引き伸した写真を送りお教えを乞うていたところ、重井先生、倉敷昆虫同好会の近藤光宏先生ともども、「コエゾゼミ

文末ではあるが、この報文を書くに当たって同定ならびに多くの助言をいただいた島原市の今坂正一氏に深く感謝申し上げる。

#### 参考文献

- (1)木元新作(1985)ハムシ科、原色日本甲虫図鑑、(IV) :149-222。(保育社)
- (2)平野幸彦・上田康之(1993)ルリナガツツハムシ本州に産す。月刊むし、270:40

ミに間違いない。写真、記録を同好会誌に」とのお言葉であった。門外漢ながら、お役にたてばと、雑文を草した次第である。

#### Cicadidae セミ科

*Tibicen bihamatus* MOTSCHULSKY

コエゾゼミ

岡山県上齋原村県立森林公園おたからこう湿原北、31.VII.1981撮影。



コエゾゼミは、本属の中ではもっとも標高の高い地に生息する。北海道では平地にもいるが、西南日本では標高1,000m以上のブナ林に棲んでいる。岡山県北部に生息がみられるが、少数。森林公園では注目種の一つにされている。

野外の観察記録は、真なり。11年間も書架に眠っていた写真が日の目を見ようとは。“Study nature, not books”をモットーに、そして、「フィルムは空気の如く(使え)」と山野に導いてくださった松本先生に、また、種同定をいただいた重井、近藤先生に深く感謝します。

#### 参考文献

- 1) 保育社、1997. 原色日本昆虫図鑑.
- 2) 岡山県、1978. 岡山県の昆虫.

(〒701-01 倉敷市松島577,

川崎医科大学生物学教室)

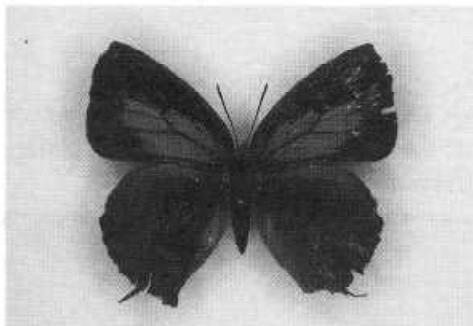
## 街中で得られたムラサキツバメ

中村具見

ムラサキツバメは、県中南部の山麓や丘陵部に局的に自生するシリブカガシ林を拠り所として分布している暖地性のチョウであるが、近年、分布拡大傾向の著しいナガサキアゲハ、イシガケチョウ、クロコノマチョウ等とは異なり、シリブカガシと密接に結びついた定住性の種といつてよい。

一方、本種は越冬前などに若干の移動を行うことが知られているが、近くにまったくシリブカガシ林の認められない岡山市街地の中心部において、盛夏に本種を得ているので報告しておく。

1♀、岡山市大供一丁目 21. VII. 1992



市庁舎の窓ガラスに静止していたもの。日中はほとんど窓の開閉を行わないので、おそらく前日の夕方から夜間にかけて迷入したものと考えられる。この時期の本種の記録は少なく、本県における周年経過も明らかでないが、個体の鮮度等からみて第1化の残存個体であろうと推測される。

筆者の知るかぎり採集地点からもっとも近いシリブカガシ林（岡山市牧山付近等）は直線距離にして10キロ近くはあると思われるが、この個体はかなりの距離を移動してきた可能性がある。なお、シリブカガシと同属のマテバシイが街路樹として市街地に多数植栽されており、これに発生した可能性も考えられるが県内では今のところ確認されていない。あるいは、食樹を求めて市街地まで飛来してきたものかも知れない。いずれにしても、移動事例の一つとして記録にとどめさせておきたい。

(〒719-11 総社市真壁1048)

## 県南におけるタガメの採集2例

青野孝昭

大型の水生半翅類であるタガメが近年激減し、通称“レッドデータブック”にも危急種にランクづけされ、

掲載されていることは周知の通り。岡山県は全国レベルでは、まだましのようであるが、県南地方に限ってみれば、近年の生息確認情報はきわめて乏しく、絶滅に近いのではないかと懸念される。

ここには、近年筆者が確認することのできた2つの採集例を記録にとどめておきたい。

タガメ *Lethocerus deyrollei* (VUILLEFROY)

1ex., 倉敷市平田, Aug. 7, 1981, 筆者採集。

1ex., 総社市南秦, Aug. 21, 1985, 手島裕採集。

いずれも夜間水銀燈の下で拾ったもので、本種が強い走光性をもっているばかりに電燈に飛来し、事故死する例の多いことを物語っている。総社市南秦の例は小高い丘陵地上にある岡山厚生年金休暇センターのテニスコート照明燈、倉敷市平田の例は倉敷市立東中学校の校庭を照らす夜間照明燈であった。

文末ながら、標本の御提供をいただいた手島裕氏に厚くお礼申し上げます。

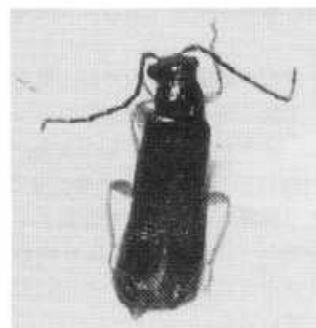
(〒710 倉敷市大内937-8)

## フタイロチビジョウカイの記録

奥島雄一

今坂ら（1990）は岡山県産のジョウカイボン科甲虫のリストを作成したが、筆者は最近このリストに載っていない岡山県産のフタイロチビジョウカイ *Malthinellus bicolor* KIESENWETTERを検する機会を得た。県内では未記録であると思われる所以ここに報告しておく。

1♀、岡山県佐伯町宇生, 29. VII. 1992, 渡辺和夫採集。



貴重な標本を提供して下さった岡山市役所の渡辺和夫氏に厚くお礼申し上げる。なお、標本は倉敷市立自然史博物館に保管してある。

## 引用文献

今坂正一・山地治・渡辺昭彦（1990）岡山県のジョウカイボン相. すずむし, (125) : 1-23.

(〒710 倉敷市中央2-6-1, 倉敷市立自然史博物館)

## 1992年に採集した八重山列島の蜂類について

原田裕康\*

1992年7月16日から19日まで、西表島・与那国島・石垣島において、観光をかねて蜂の採集をしたので報告しておく。

報告にあたり、採集品を同定してくださった羽田義任先生に厚くお礼申し上げる。

## 採集月日と採集地について

- 7月16日 西表島：仲間川中流、由布島  
 17日 与那国島：与那国空港、久部良、ナーマ浜  
 18日 西表島：上原、マリュウド滝、船浦  
 19日 石垣島：唐人墓、パンナ岳、於茂登岳、明石、底地

## 蜂類の目録

## I. ソチバチ科

1. *Campsomeriella quadrifasciata suteri* (BETREM)  
 ネウスハラナガツチバチ  
 ナーマ浜 1♂  
 2. *Scolia quadripustulata formosensis* BETREM  
 コツボシツチバチ  
 久部良 1♂

## II. ベッコウバチ科

3. *Cyphononyx dorsalis* (LEPELETIER) ベッコウバチ  
 底地 1♀  
 4. *Leptodialepis nicevillii okinawensis* (MATSUMURA)  
 タイワンベッコウ沖縄亜種  
 底地 1♀

## III. ドロバチ科

5. *Delta flavopictum formosanum* (ZIMMERMANN)  
 ハラナガスズバチ  
 船浦 1♂, 明石 1♂  
 6. *Rhynchium quinquecinctum nambui* SK. YAMANE  
 ナンブオオドロバチ  
 (=フカイドロバチ八重山亜種)  
 久部良 1♀  
 7. *Pararrhynchium ishigakiense* (YASUMATSU)

イシガキカバドロバチ

仲間川中流 1♀

8. *Euodynerus trilobus* (FABRICIUS) ジュウジドロバチ  
 明石 1♂

## IV. スズメバチ科

9. *Polistes japonicus formosanus* SONAN  
 タイワンアシナガバチ  
 於茂登岳 1♀  
 10. *Polistes rothneyi yayeyamae* MATSUMURA  
 ヤエヤマアシナガバチ  
 パンナ岳 1♀, 底地 1♀

## V. アナバチ科

11. *Sceliphron madraspatanum formosanum* VECCHI  
 タイワンキゴシジガバチ  
 ナーマ浜 1♂  
 12. *Sphex argentatus argentatus* FABRICIUS  
 クロアナバチ基名亜種  
 上原 1♂  
 13. *Isodontia nigella* (SMITH)  
 コクロアナバチ  
 明石 1♂  
 14. *Liris difficilis* TSUNEKI  
 アカシコオロギバチ  
 明石 1♂  
 15. *Tachysphex nigricolar yaeyamanus* TSUNEKI  
 ヤエヤマスカダカバチ  
 与那国空港 1♀  
 16. *Trypoxyylon takasago kumaso* TSUNEKI  
 クマソジガバチモドキ  
 マリュウド滝 1♀  
 17. *Bembecinus bimaculatus* (MATSUMURA et UCHIDA)  
 リュウキュウスナハキバチ  
 由布島 2♀♀, ナーマ浜 1♀, 明石 1♀

## VI. ハキリバチ科

18. *Lithurge collaris* SMITH  
 キホリハナバチ  
 唐人墓 3♀♀  
 19. *Megachile yayeyamaensis* YASUMATSU et HIRASHIMA  
 ヤエヤマキバラハキリバチ  
 明石 1♂

\* 〒701-42 邑久郡長船町福岡453-7

20. *Megachile igniscopata* COCKERELL  
タイワンツヤハカリバチ  
久部良 2♂♂

- VII. ケブカハナバチ科  
21. *Amegilla senhai senhai* (YASUMATSU)  
アオスジコシブトハナバチ

- 久部良 1♂, 上原 2♂♂ 1♀  
22. *Thyreus takaonis* COCKERELL  
タカオルリモンハナバチ  
由布島 2♂♂, 於茂登岳 20♂♂ 1♀  
23. *Xylocopa albinotus* MATSUMURA  
アカアシセジロクマバチ  
唐人墓 1♀

## 沖縄本島・宮古列島で採集した蜂類について

原田 裕 康\*

1993年7月20日から24日まで、沖縄本島と宮古島周辺の島々において、観光をかねて蜂の採集をしたので報告しておく。

報告にあたり、いつも採集品を同定してくださり、懇切な指導を賜っている羽田義任先生に厚くお礼申し上げる。

### 採集月日と採集地について

- 7月20日：沖縄本島（東南植物楽園）  
21日：沖縄本島（許田、今帰仁）、屋我地島  
22日：宮古島（平良市熱帯植物園、平良市、砂山、西平安名崎）、池間島  
23日：伊良部島、下地島  
24日：宮古島（与那覇、東平安名崎）、来間島

### 蜂類の目録

#### I. ツチバチ科

1. *Campsomeriella annulata sakaguchii* (UCHIDA)  
サガグチハラナガツチバチ  
屋我地島（済井出） 1♂, 池間島 1♀  
2. *Campsomeriella quadrifasciata sauteri* (BETREM)  
ネウスハラナガツチバチ  
伊良部島 1♂  
3. *Scolia quadripustulata formosensis* BETREM  
ヨツボシツチバチ  
屋我地島（済井出） 1♂, 伊良部島 2♀♀

#### II. ベッコウバチ科

4. *Tachypompilus analis* (FABRICIUS)

- 今帰仁村（今泊） 1♂  
ツマアカベッコウ

- III. ドロバチ科  
5. *Delta esuriense* (FABRICIUS) クロスジズズバチ  
今帰仁 1♂, 屋我地島（済井出） 1♂  
6. *Pachymenes yayeyamensis* (MATSUMURA)  
ヒメトックリバチモドキ  
池間島 1♂  
7. *Rhynchium quinquecinctum nambui* Sk. YAMANE  
ナンブオオドロバチ  
下地島 1♂, 来間島 2♀♀  
8. *Anterhynchium flavomarginatum umenoi* (YASUMATSU)  
ヤエヤマフタオビドロバチ  
宮古島（平良市） 1♀  
9. *Euodynerus nipanicus flavigornis* Sk. YAMANE  
キスジドロバチ  
今帰仁村（今泊） 1♂ 1♀

#### IV. スズメバチ科

10. *Vespa analis eisa* Sk. YAMANE  
オキナワコガタスズメバチ  
今帰仁村（今泊） 1♀  
11. *Polistes japonicus* SAUSSURE  
ヤマトアシナガバチ沖縄亜種  
今帰仁村（今泊） 1♀  
12. *Polistes japonicus formosanus* SONAN  
タイワンアシナガバチ  
池間島 1♀, 下地島 1♀  
13. *Polistes rothneyi ingrami* VAN der VECHT  
オキナワキアシナガバチ

\* 〒701-42 邑久郡長船町福岡453-7

東南植物楽園 1♀

14. *Ropalidia fasciata* (FABRICIUS) ヒメアシナガバチ  
池間島 2♂♂ 1♀

## V. アナバチ科

15. *Chalybion japonicum* (GRIBODO) ルリジガバチ  
東南植物楽園 1♀
16. *Sphex sericeus lineolus* LEPELETIER キイロアナバチ  
今帰仁村 (今泊) 3♂♂ 5♀♀
17. *Sphex diabolicus flammitricus* STRAND キンモウアナバチ  
今帰仁村 (今泊) 1♂
18. *Prionyx viduatus* (CHRIST) オキナワアナバチ  
許田 3♂♂, 下地島 1♀
19. *Liris aurulentus* (FABRICIUS) キンイロコオロギバチ  
与那覇 1♀, 下地島 1♀
20. *Tachysphex nigricolor nigricolor* (DALLA TORRE) スカダカバチ  
東南植物楽園 1♀
21. *Pison punctifrons* SHUCKARD クロツヤビソン  
東南植物楽園 1♀
22. *Trypoxyton petiolatum* SMITH ナミジガバチモドキ  
下地島 1♀
23. *Bembecinus bimaculatus* (MATSUMURA et UCHIDA) リュウキュウスナハキバチ  
東南植物楽園 1♂ 1♀, 今帰仁村 1♀, 屋我地島 (済井出) 1♀, 来間島 1♂, 宮古島 (砂山) 1♀
24. *Cerceris gebharti* TSUNEKI オキナワツチスガリ  
今帰仁村 (今泊) 1♂

## VI. コハナバチ科

25. *Nomia pavonula* COCKERELL ミナミアオスジハナバチ

## おとしみ

## 岡山市でタガメを採集

山 地 治

最近タガメ *Lethocerus deyrollei* (VUILLEFROY) は全国的に少なくなっているようであるが、岡山市内で採集することができたので報告する。

1 ex., 1. VIII. 1992, 岡山市芳賀, 筆者採集

池間島 1♂ 2♀♀

## VII. ハキリバチ科

26. *Chalicodoma disjunctiformis* (COCKERELL) ネジロハキリバチ  
屋我地島 (済井出) 1♀
27. *Megachile okinawana* YASUMATSU et HIRASHIMA オキナワキバラハキリバチ  
屋我地島 (済井出) 2♂♂
28. *Megachile yayeyamaensis* YASUMATSU et HIRASHIMA ヤエヤマキバラハキリバチ  
宮古島 (西平安名崎) 2♂♂ 2♀♀, 宮古島 (東平安名崎) 2♂♂, 池間島 1♂ 1♀, 下地島 3♂♂ 3♀♀
29. *Megachile ignoscopata* COCKERELL タイワンツヤハキリバチ  
東南植物楽園 1♀, 屋我地島 1♂, 宮古島 (東平安名崎) 1♀, 下地島 2♀♀
30. *Megachile rixator sakishimana* YASUMATSU et HIRASHIMA サキシマキヌグハキリバチ  
下地島 1♀

## VIII. ケブカハナバチ科

31. *Amegilla senhai senhai* (YASUMATSU) アオスジコシブトハナバチ  
東南植物楽園 1♂, 屋我地島 1♂, 宮古島 (平良市熱帶植物園) 1♀, 平良市 2♂♂, 東平安名崎 1♂, 池間島 1♂, 下地島 2♀♀, 来間島 2♂♂
32. *Thyreus takaonis* (COCKERELL) タカオルリモンハナバチ  
下地島 7♀♀
33. *Xylocopa flavifrons* MATSUMURA オキナワクマバチ  
東南植物楽園 2♀♀

芳賀佐山団地の中央公園での夏祭りの時、夜間灯火に飛来した大型の昆虫が目の前に落ちてきたので取り押されたところ本種であった。採集地は尾根状の場所であるが、西側の斜面の下には池や水田があるので、おそらくそのあたりに生息していたのであろう。

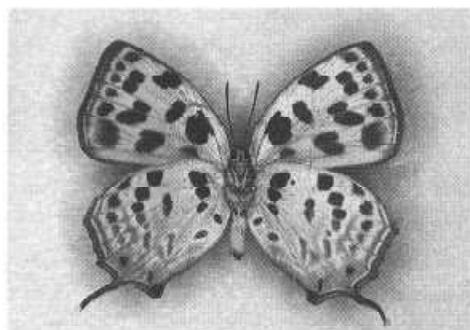
(〒701-12 岡山市芳賀5116-11)

## 備中町でオナガシジミを採集

中村具見

オナガシジミは西日本では一般に山地性のゼフィルスとされており、県下でもこれまで中国山地帯からのみ発見されていた。しかしながら、食樹のオニグルミは県下全域に広く自生していることから、吉備高原西部の新成羽川ダム上流付近を調査したところ、少ないながら生息を確認できたので報告しておく。

2♂ 2♀, 川上郡備中町西山板橋 (250m) 12. VII.  
1992



オニグルミはダム湖岸の県道べりなど各所に多く、特に渓谷沿いなどではまとまって生えている場所もあるが、湖岸沿いでは何か所か調べたにもかかわらず全く発見できなかった。オナガシジミを発見できたのはさらに上流の西油野方面へ至る渓谷で、ここでもオニグルミが多いわりに個体数は少なく、特定の木に限って樹上を飛翔する個体が認められた程度で、蒜山あたりに比べると生息密度は低いようである。

なお、備中町で発見されたことで近隣の新見市南部や哲多町、成羽町方面でも生息地が見つかる可能性がある。

(〒719-11 総社市真壁1048)

## アカマダラコガネの再発見

奥島雄一

アカマダラコガネ *Poecilophilides rusticola* (BURMEISTER) の倉敷市での記録は古市 (1953)、青野 (1976)、青野・近藤 (1986) があるが最近の記録はなく、最も新しい採集記録は青野・近藤 (1986) の 1 ex., 倉敷市鶴形山, 26. VIII. 1949, 小野洋採集であると思われる。

筆者は最近、倉敷市内で本種を採集しているので報告しておく。

1 ex., 岡山県倉敷市由加山, 12. VII. 1993, 筆者採集, 倉敷市立自然史博物館保管。

昼間、多数のカナブンとともにアキニレの樹液に来ていたものを採集した。倉敷市内では実に44年ぶりの記録である。

末筆ながら、過去の記録についてご教示いただいた倉敷市立自然史博物館の青野孝昭氏に厚くお礼申し上げる。

## 引用文献

- 古市景一 (1953) 児島郡産の昆虫数種. すずむし, 3 (8): 29-30.  
青野孝昭 (1976) 由加山の甲虫. 倉敷の自然, PP. 221-228. 倉敷市企画部, 倉敷.  
青野孝昭・近藤光宏 (1986) 街中の緑地. 鶴形山の昆虫. 倉敷市立自然史博物館研究報告, (1): 47-73, pls. 1-4.  
(〒710 倉敷市中央2-6-1, 倉敷市立自然史博物館)

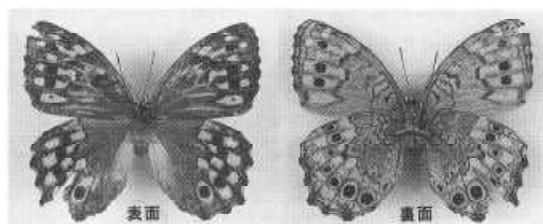


## サトキマダラヒカゲ玉野市で採集

土畠重人

県南部、特に瀬戸内海沿岸での記録は少ないと思われるサトキマダラヒカゲを玉野市で採集したので、報告する。

1♀, 玉野市沼, 5. IX. 1993



海岸に面した、藪をぬける農道で、ジャノメチョウと思い採集したところ本種だった。

(〒711 倉敷市児島通生236-3)

## 備中町でクロコノマチョウ採集

渡辺和夫

クロコノマチョウは近年特に記録が多く、ほぼ定着した感もあるが、県西部の記録として報告しておく。

1♀ (夏型), 川上郡備中町安田, 25. VII. 1992

道路脇の雑木林で採集中、林縁のススキ?から飛び出したものである。

(〒719-11 総社市三輪203)

## 吉備高原地域西北部のメスアカミドリシジミ（続報）

中村具見\*

### I はじめに

吉備高原におけるメスアカミドリシジミの分布については、前報（中村、1984）で、それまで中国山地帯が主な分布域と考えられていた本種が、より南部の吉備高原地域西北部に確実に分布していること、そして阿哲郡哲多町西部、荒戸山付近の高原地帯にはやや普遍的に生息していること及びこの時点での南限記録が成羽町天神山付近であること等、分布記録を中心に取りまとめて報告した。

この地域における本種の分布については、その後も断片的ではあるが継続的に調査を行ってきたところ、さらに南部にかけての広い地域において、新たな産地を発見することができた。そこで、これまでに発表されている記録等も参考にしながら、分布資料の整理も兼ねて報告することとした。

今回対象とした地域は、前報と同じく阿哲郡及び新見市のほぼ中央部を南北に分断する細長い盆地列（JR姫新線、芸備線の通る地域）を境としてこれよりも南の地域、すなわち地形区分上において吉備高原と呼ばれる地域のうち、概ね高梁川流域の地域としている。吉備高原は、標高400m～600mの定高性の緩やか起伏をもった高原状の山地であり、これを侵食する河川はかなり急峻な渓谷を形成している。また、独特の景観と固有の植生を示す石灰岩地形が隨所にみられ、昆虫相全般にわたって興味深い地域である。

報告にあたり、調査に協力していただいた近藤要一、渡辺和夫の両氏をはじめ、資料や有益な情報を提供していただいた大橋英雅、小野克己の両氏には厚くお礼申し上げる。

### II 分布記録

分布記録は、行政区画にこだわらず、むしろこれを無視して、地形的なまとまりに従って取りまとめた。採集地の地名の次のカッコ内には、採集地点の標高を示した。採集者名のないものは全て筆者のデータである。文献記録は前報で引用したものは除き、その後発表されたものだけを取り上げた。

#### 1 草間・豊永台一帯

新見市の南部、高梁川の東側に広がる草間・豊永地区に代表される石灰岩台地は、ウスイロヒヨウモンモドキやヒロオビミドリの産地として著名であり、県内では分布調査のかなり行き届いた地域であるにもかかわらず、比較的近年まで本種の存在は知られていなかった。

筆者の知る限りでは、次に示した小野克己氏による草間人原～土橋新屋原間の採集記録が、データ的には初めてのものと思われる。したがって、前報ではこの地域は分布の空白地帯となっていたが、この記録以降、散発的な記録が報じられるようになった。また、筆者も採卵調査等によって、足見から土橋、豊永方面にかけていくつかの産地を確認しており、この地域の北部よりではやや普通に分布していることが明らかになった。

新見市草間・大原～土橋・新屋原 (430m) 1♂, 16. VI. 1985 小野克己

県道べりで得られたとのこと。

新見市足見 (410-430m) 1♂, 5. VII. 1987; 6♀, 10. I. 1988; 23♂, 19. VI. 1988; 2♂, 11. VI. 1989

草間台地の西北部に位置する足見地区では、地区の背後にある小さな渓谷沿いで得られた。採卵による調査ではそれほど数が得られなかつたが、成虫の個体数は少くないよう、活動時間帯には多数の♂が次々とテリトリーを争う様子が見られた。

新見市豊永佐佐・有立津 (410m) 1♀, 10. I. 1988 (1♂, 12. V 羽化); 1♂, 2. VII. 1988  
近藤要一

豊永台地のほぼ中央部に位置する、やはり台地上の小さな沢で得られたが、この付近では非常に少なく、わずか1卵を発見したのみ。条件の良いサクラ類が少なかったことも影響しているのかも知れない。

新見市豊永赤馬・横 (340-400m) 32♀, 3. I. 1991

満奇洞付近一帯は観光地として整備され、洞窟入口のある斜面には遊歩道が付けられ、その周りにはソメイヨシノが植栽されている。近隣の雑木林中のヤマザクラも含めて比較的多くの卵が得られた。

\* 〒719-11 総社市真壁1048

新見市土橋・下組 (350m) 19卵, 31. III. 1992  
土橋から足見方面に至る道路沿い及び斜面の雑木林中で得たもの。

#### [文献記録]

新見市土橋 (松村, 1989)

#### 2 高梁川以西から本郷川・坂本川までの地域

高梁川以西の吉備高原のうち、哲多町の中央部を北上する本郷川及び成羽町北部を南下する坂本川、さらに成羽川（本流）で区切られる地域からは、これまで哲多町と新見市の一部でわずかに発見されていただけであるが、成羽町中部に至るまでの各所から、次のとおり確認することができた。

新見市法曾・中野呂 (390m) 23卵, 30. VII. 1984

新見市法曾・小林 (380-390m) 3卵, 3. I. 1985

井倉から高梁川を渡り、石灰岩の露出した急斜面を登りきると、法曾（熊野）の石灰岩台地が広がっている。草間・豊永台とよく似た地形と植生が見られ、ゆるやかな起伏の高原上にはアカマツ林やナラガシワの多い雑木林が点在している。これらの雑木林の林中やその周辺で得られた。

阿哲郡哲多町荻尾・布寄 (490-500m) 47卵, 3. I. 1985

阿哲郡哲多町荻尾上 (450-490m) 24卵, 3. I. 1988

荻尾地区は新見市法曾（熊野）から連続する高原面のさらに西方に位置しており、山腹斜面に付けられた林道の周辺などで多数の卵が得られたので、この付近でも個体密度はかなり高いように思われた。

こここの雑木林中にはサクラ類が比較的多く自生しているが、調査当時は伐採後それほど年数を経ておらず、低木やひこ生えが多かったため、採卵は容易であった。

阿哲郡哲多町荻尾・井原 (430m) 9卵, 3. I. 1985

井原から無明谷に下る渓谷の手前を、右手に分岐して林道をしばらく登ると平坦な台地の上に出る。ナラガシワが主体の雑木林中において、少ないながら得られた。

阿哲郡哲多町矢戸・無明谷 (320m) 1♂, 22. VI. 1986

既に記録されている場所である。渓谷斜面の高所の枝先を占有していたものを得た。

高梁市宇治町遠原・大池山 (400-570m) 21卵, 3. I. 1989; 1♂, 11. VI. 1989; 5♂, 10. VI. 1990

大池山は高梁市の北端にあって、上記の新見市法曾地区の南方に位置している。一帯は花崗岩質の地質で

アカマツ林が優先し、植生そのものは見た目にも貧弱な山である。山頂付近に育成牧場があるため、ここまで舗装された道が南側の渓谷から付けられており、この道沿いを中心的に調べたところ、山麓の谷筋から山頂付近に至るまでの広い範囲において、採卵することができた。

成虫はいずれも山麓の渓谷部で得られたもので、個体数はそれほど多くない。

高梁市宇治町遠原西 (340m) 6卵, 3. I. 1989

大池山の南側にあたる遠原地区から宇治町方面に至る道べりには数キロにわたってソメイヨシノの並木が植えられていて、樹齢が古いやせいか枯れかけたものもある。この桜並木から、本種の卵を発見されたとの情報を受けた大橋氏よりお聞きしたので調査に訪れたところ、少ないながら採卵することができた。

高梁市宇治町宇治・笹尾 (400m) 3卵, 2. I. 1994

宇治町の中心部から少し北寄りの低い山地で、大池山付近と同様、アカマツ林主体の貧弱な植生の地域である。林道に沿ってサクラ類が多く見られたので採卵は容易と思われたが、予想外に少なかった。

高梁市宇治町穴田・陰地 (510m) 1卵, 2. I. 1994

宇治町の西部の成羽町中野との峰付近の道沿いで得たもの。やはり個体数は少なかった。

川上郡成羽町吹屋・北方 (490-510m) 36卵, 2. I. 1993

吹屋付近でもこれまで本種は未知であったが、より南部の布寄～羽根地区一帯で点々と産地が発見されたことから、当然生息が予想されたものである。山腹の水田に沿った小さな沢や道べりのサクラ類から容易に得られ、個体数も少なくなかった。

川上郡成羽町羽根 (380m) 7卵, 5. I. 1991

川上郡成羽町羽根・後 (330m) 14卵, 30. XII. 1992; 8卵, 2. I. 1993

川上郡成羽町小泉・常頭 (360m) 5卵, 30. XII. 1992

羽根及び小泉地区は夫婦岩のある布寄（木之村）や長地地区に連なる吉備高原上にあって、やはりゆるやかな起伏の山地が続き、所々石灰岩の露岩地等もみられる。このあたりまで南下すると本種の密度はそれほど高いとは言えず、採卵調査を試みても発見できなかつた所も多い。いずれも道路沿いのひこ生えや林中のサクラの低木から得られた。

川上郡成羽町布寄・木之村 (410-420m) 24卵, 5. I. 1991

木之村の夫婦岩付近は石灰岩の岩場が露出した景勝地であり、ベニモンカラスの生息地としてよく知られた所でもある。筆者もこれまでに何回となく訪れているが、大橋氏から教示されるまではここにメスアカミドリがいるとは思ってもいなかった。

あらためてそのつもりでサクラ類を調べてみると、夫婦岩の入口付近の雑木林の中で簡単に採卵することができ、意外な場所が発生地となっているのに驚かされた。台地上なので、発生地ではあっても成虫、特に♂は渓谷の方へ移動してしまうのかもしれない。

川上郡備中町長屋 (160m) 1♂, 12. VI. 1987; 1♂, 14. VI. 1988

備中町黒鳥から成羽川を渡り布寄・木之村方面へ向かう道は、切り立った石灰岩の急斜面に張りつくように付けられている。偶然に車を停めた途中の沢で広葉樹の枝先を飛ぶゼフィルスを見出し、ヒロオビミドリか何かと思って採集したところ、予想外の本種であった。県内における本種の採集地点としてはかなりの低標高の場所であるが、付近での採卵は試みておらず、発生地かどうかは確認できていない。これより上部の台地面では、上記の木之村をはじめいくつか産地が発見されているので、あるいはそちらから偶然移動してきたものかも知れない。

#### [文献記録]

阿哲郡哲多町久保井野 (三宅, 1985)

阿哲郡哲多町無明谷 (三宅, 1985)

#### 3 本郷川・坂本以西で成羽川以北の地域

この地域では、前報で荒戸山とその周辺の田淵地区一帯に広く生息していることを報告した。その後はあまり調査を行っていないが、確認できた産地は次のとおりである。新成羽川ダム上流の深い渓谷やその上部に広がる吉備高原面では、局地的ながらかなり広い範囲に分布しているものとみられる。

阿哲郡哲多町蚊家・おもっぽ湿原 (540m) 数卵 (確認), 22. VI. 1991

すずらんの園地等と一体的に整備された湿原の周囲を取り巻くように付けられた遊歩道べりに植栽されたサクラから、産卵されて間もない純白の卵を確認した。川上郡備中町西山・鈴木滝入口付近 (260m) 2♂, 22. VI. 1991; 4♂, 14. VI. 1992

新成羽川ダムの上流、ダム湖岸の県道から西山地区に上がる県道の途中、鈴木滝の入口付近の沢で採集した。渓流べりのオニグルミの枝先で占有飛翔を繰り返していたもの。

川上郡備中町西山・板橋 (大谷) (260m) 39♂ 1♀, 11. VI. 1994

やはり新成羽川ダムの上流、西谷橋付近から北東に延びる渓谷 (大谷) の道沿いの各所で採集。この谷はオニグルミやナラガシワをはじめ、ハルニレなども多く、吉備高原地域の渓谷としては豊かな植生が残されており、本種は至るところで見ることができた。

#### [文献記録]

川上郡備中町正信 (那須, 1989)

#### 4 成羽川以南の地域

成羽川よりも南の吉備高原では従来全く本種の記録はなかったが、隣接する広島県の東南部からは神石郡三和町 (佐々木ほか, 1985) や福山市山野町 (山崎、1985) などで記録されていたので、県境に近い備中町西部での発見が予想されていた。少数ではあるが採卵することができて、岡山県側にも生息していることが判明したものである。最近の記録は、既に三宅 (1993) により報告されているが、以下に筆者の調査結果を示す。

いずれも高原の台地面上に生息地が点在しており、一般に個体の密度は低くないようである。

川上郡備中町平川・坪野 (540m) 10卵, 12. III. 1989

川上郡備中町平川・乙原 (580m) 3卵, 12. III. 1989

坪野も乙原とともに平川地区の北西部にあって、広島県との県境近くに位置している。この付近では山間の棚田の脇の雑木林や道べり等で若干数が得られた。

川上郡備中町平川・平弟子 (570m) 1卵, 12. III. 1989

川上郡備中町平川・安田 (560m) 6卵, 10. II. 1985

川上郡備中町平川・津々羅 (580-600m) 1卵, 10. II. 1985; 4卵, 12. III. 1989

平川地区の南部にあたる平弟子～安田～津々羅一帯は、県境の山間に集落が点在しており、これらの集落を結ぶ道路沿いを調査したところ、計3か所で発見することができた。調査しても発見できなかった場所も多く、成羽川よりも南の吉備高原地域になると、個体の密度はかなり低くなるようである。

#### [文献記録]

川上郡備中町中長谷 (三宅, 1993)

川上郡備中町安田 (三宅, 1993)

川上郡備中町木之村 (三宅, 1993)

川上郡備中町竹之倉 (三宅, 1993)

### III 分布の概要

この地域では、本来冷温帯域を主たる分布域とする本種らしく、西北部寄りの備中町北部や哲多町付近のように高原面の上にある山地が標高600~700mとこれらの地域の中では最も標高の高い地域に産地が多く、かつ一般的に分布密度も高くなっている。一方、既に個別の記録のなかに記述したように、備中町南部や成羽町の中部などのように分布の辺縁部にあたる地域では当然のことながら個体密度が低くなるものの、この地域全体をみると局地的ではあるが一般にそれほど少ないものではなく、成羽川以北の備中町、成羽町、哲多町の産地では、適期であれば多数の成虫を見ることもそれほど困難なことではない。

このように、古備高原地域西北部にはある程度普遍的に分布していることから、中国山地帯から派生した孤立的な産地群とみなすよりは、県内における本種の主要な分布域の一部とみて差し支えないように思われる。

次に、これまで本種は一般的にはブナやミズナラに代表される冷温帯性落葉広葉樹林と深い関わりを持つとされ、事実、県内においても中国山地のおよそ標高600m以上の地域が主な生息域と考えられてきた。しかしながら、吉備高原地域ではこの付近の普遍的植生であるナラガシワ、アベマキ、クヌギ、コナラ等の落葉ケルクスを主体とした二次林を主な生息地とともに、さらには高梁市宇治町大池山付近のようにアカマツ林とみられるような環境にも生息しているなど、特定の植生との結びつきはあまり認められず、むしろ暖温帯性の落葉二次林に広く分布していることが特色となっている。そして、食樹のサクラ類がどちらかと言えば陽樹的な傾向があつて二次林中に多く見られることから、吉備高原の台地面の人為的な環境の拡大が本種にとって好適な生息環境の拡大につながり、分布を広げたとも考えられる。

また、生息地の標高も吉備高原の台地面とこれを刻む渓谷を中心に約300~600m付近に集中しており、当然ではあるが中国山地帯よりも低所に分布している。このなかには備中町長屋のように標高160mという県内では最も低標高と思われる産地もあって、吉備高原を浸食する渓谷の一隅では、意外な低地にまで分布していることも注目される。

最後にこの地域における生息環境も、本種の一般的な生息環境とされるやや湿潤な谷間の樹林とは若干異なっていることを指摘しておきたい。すなわち、吉備高原の地形的特徴とされる隆起準平原のゆるやかな起伏をもつた高原上の台地面に多くの産地群が認められ

ることで、乾燥した比較的平坦な地形の二次林が主要な生息地となっていることも、この地域の重要な特徴といえるのではないだろうか。ただし、これはマクロ的にみた生息環境であつて、成虫の活動空間のようなミクロ的な生活環境はやはり小さな沢筋とか樹林内の開けた空間であり、こうした点は他の生息地とほとんど変わらない。

### IV おわりに

吉備高原地域西北部におけるメスアカミドリシジミは、概して局地的ではあるが場所によっては多産することも明らかとなった。しかしながら、食草であるサクラ類の同定や活動習性などの生態面、さらにメスの橙色斑に関する変異等については、今後も資料の集積に努め、岡山県全体のまとめを行うなかであらためて取りまとめることにしたい。

### V 参考文献

- 1) 福田晴夫ほか (1984) 原色日本蝶類生態図鑑 (III)  
シジミチョウ編, 保育社, 大阪
- 2) 中村具見 (1984) 吉備高原地域西北部のメスアカ  
ミドリシジミ, すずむし (119), 10-11
- 3) 三宅誠治 (1985) 県内産蝶類分布メモ, みちしる  
べ (5) 20
- 4) 佐々木潤一ほか (1985) 広島県東部におけるメス  
アカミドリシジミ, 備後の蝶 (1), 19
- 5) 山崎孝善 (1985) 福山市にメスアカミドリシジミ,  
備後の蝶 (2), 33
- 6) 那須敏 (1989) 1986年活動報告<ギフチョウ分布  
調査ー新見方面>, みちしるべ (8), 29-30
- 7) 松村正哉 (1989) 草間台地でメスアカミドリシジ  
ミを探集, みちしるべ (8) 40
- 8) 三宅誠治 (1993) 成羽川以南でメスアカミドリシ  
ジミを記録, みちしるべ (16) 90

## 岡山県内のオサムシ分布資料

山 地 治\*

岡山県内のオサムシに関しては、脇本浩氏とともに「すずむし」116号(1979)に「岡山県のオサムシ採集記録」と題して、それまでに採集していた標本のデータを報告した。その後は永らくまとまった報告はなかったが、1987年に近畿オサムシ研究グループによって中国地方各県の記録が報告され(「中国地方のオサムシ分布資料」すかしばNo28), 岡山県についても初記録のマヤサンオサムシを始め、多くの記録が報告された。筆者は上記報告の後はオサムシに関してはあまり熱心には採集しなくなっているが、譲り受けたものも含め、若干の標本がたまつたので報告しておく。

貴重な標本をお譲りいただいた安東瑞夫氏、伊藤國彦氏、出雲善浩氏、尾関啓吉氏、末宗安之氏、那須敏氏、野嶋宏一氏、渡辺昭彦氏、渡辺和夫氏には、紙上ながらお礼申し上げる。

なお、採集者名は原則として名字のみを記した。

• *Calosoma maximowiczi* (MORAWITZ)

クロカタビロオサムシ

- 1♂, 岡山市藤田神社 30. V. 1975 尾関  
 1♀, 岡山市足守 3. VI. 1979 出雲  
 1♀, 川上村蒜山有料道路 10. VII. 1986 渡辺昭彦

• *Apotomoputerus porrecticollis kansaiensis* (NAKANE)

ホソアオクロナガオサムシ

- 1♂, 奈義町滝山 5. VI. 1977 尾関  
 2♂1♀, 勝北町声ヶ屹 14. XI. 1981 山地  
 3♂5♀, 阿波村大ヶ山 20. XI. 1982 山地  
 1♀, 川上村熊谷 2. X. 1988 山地  
 1♂, 奥津町井坂下木原 1. VIII. 1992 伊藤

• *Leptocarabus procerulus procerulus* (CHAUDOIR)

クロナガオサムシ

- 8♂2♀, 西粟倉村ミソギ峠 16. XII. 1979 山地  
 1♀, 勝北町声ヶ屹 14. XI. 1981 山地  
 1♂, 加茂町角ヶ屹 28. XII. 1981 山地  
 4♂8♀, 加茂町倉見(上斎原村との峠付近。以下同じ。) 26. IX. 1992 山地

1♂, 西粟倉村若杉峠 17. X. 1992 山地

- *L. kyushuensis nakatmii* (ISHIKAWA)  
 チュウゴククロナガオサムシ  
 1♀, 熊山町稗田 14. VIII. 1984 山地  
 1♀, 熊山町稗田 18. X. 1986 山地  
 1♂, 津山市榎 19. X. 1985 山地  
 1♂, 岡山市芳賀(筆者自宅) 3. X. 1989 山地  
 2♂1♀, 奥津町井坂下木原 2. VIII. 1992 安東上蒜山山頂など高標高のところから吉備高原南端まで広く分布しているようだ。  
 • *Carabus dehaanii dehaanii* CHAUDOIR オオオサムシ  
 1♂1♀, 勝北町声ヶ屹 14. XI. 1981 山地  
 3♀, 勝北町星山 18. III. 1982 山地  
 1♂, 備中町磐窟溪 4. V. 1984 山地  
 1♂, 大佐町大佐山 14. IX. 1985 渡辺和夫  
 1♀, 中和村山乘山 11-12. VII. 1987 渡辺和夫  
 1♂, 奈義町滝山 27. V. 1990 山地  
 1♀, 奥津町井坂下木原 2. VIII. 1992 安東  
 • *C. japonicus chugokuensis* (NAKANE) アキオサムシ  
 1♂(黒色), 旭町幻住寺 4. V. 1983 山地  
 1♂2♀(内1♀黒色), 東粟倉村日名倉山 25. VIII. 1986 尾関  
 1♂(黒色), 賀陽町大久保 6. VIII. 1986 山地  
 1♀, 作東町川北 13. VIII. 1988 末宗  
 1♂, 落合町鰐田 4. V. 1989 山地  
 1♀, 備中町平川 10. V. 1989 山地  
 1♂1♀, 岡山市本陣山 29. IV. 1990 山地  
 1♂(黒色), 英田町天石門別神社 30. IV. 1990 那須  
 1♀, 加茂町青柳 17. V. 1990 野嶋  
 1♀, 東粟倉村後山 3. VI. 1990 山地  
 1♀, 中和村山乘山 18. V. 1991 山地  
 2♀, 奥津町井坂下木原 2. VIII. 1992 安東  
 1♀, 加茂町倉見 26. IX. 1992 山地  
 吉備高原面では高梁川流域以外では採集しがたいが、ほぼ全域にまばらに分布しているのであろう。黒色と表示した個体以外は銅色である。臥牛山のように黒色の表れない地域もあるようであるが、他の地域では採集した個体数が少ないので、よく分らない。  
 • *C. maiyasanus maiyasanus* BATES マヤサンオサムシ

1♂, 東栗倉村後山 1. VII. 1992 那須  
1♀, 東栗倉村後山 22-23. VII. 1992 那須  
船木山登山口に近い後山キャンプ場で採集してい

る。岡山県では上齋原村辰巳峰に次いで2番目の産地となるが、2つの産地は本種としても分布の境界付近であろう。

## おとしへみ

### イシガケチョウー1992年の記録

中 村 具 見

イシガケチョウは最近特に採集例が増えたチョウで、県内でも中南部を中心に目撃も含めてかなり多くの確認例が報告されている。

筆者も各所でしばしば目撃しているが、最近は採集したことがなかった。しかしながら、1992年には偶然にも複数の箇所で得ることができたので参考までに報告しておく。

1♀, 苫田郡鏡野町越畠 (650m) 6. VI. 1992

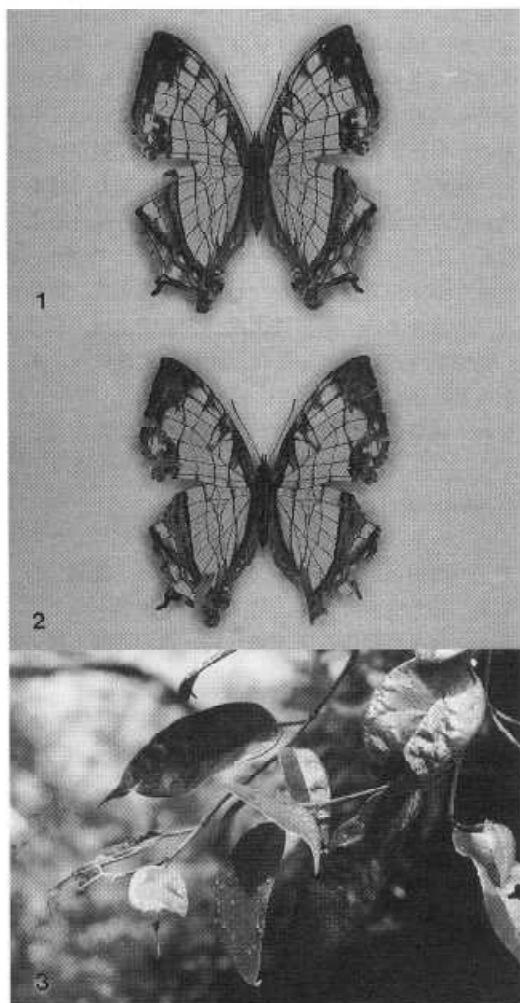
越畠の集落から北の花知ヶ山方面に至る渓谷で、流れに沿って飛んでいたもの。一部破損しているものの新鮮な個体であり、付近で発生した第1化の個体と思われる〔写真1〕。中国山地のような冷涼な地域ではイヌビワは自生していないが、越畠あたりでも集落にはイチジクが植栽されており、他所から飛来した越冬個体がこれに産卵し、発生したものではないかと考えられる。

1♀〔写真2〕, 5卵 (イタビカズラより), 川上郡備中町平川・角子 (140m) 14. VI. 1992

成羽川に面した石灰岩のほぼ垂直に功り立った岩場を削って付けられた旧県道沿いを調査していたところ、斜面の樹上を軽快に飛ぶ複数の個体が見られた。足場が良くないためそのままにしてしばらく行くと、岩場のイタビカズラの周りを緩やかに飛ぶ個体が認められた。採集してみると♀であり、しかもイタビカズラに執着した飛び方をしていたので、近くの道べりに点々と自生しているものを調べたところ、新芽や若葉に産付された卵が発見できた。このうち数卵を持ち帰り、最初はイタビカズラで、また途中からはイヌビワを与えて飼育した結果、7月5日から12日にかけて2♂3♀が羽化した。イタビカズラが本種の食草となることは既に図鑑類にも記載されているが、本県で確認されたのは初めてと思われる。7月12日に訪れた際には幼虫は発見出来なかったものの、本種の特徴ある食痕がイタビカズラの各所から認められた〔写真3〕。

イタビカズラは県内各所の岩場等にみられるので、食草として普遍的に利用されているのであれば、本種

の分布拡大を支える一つの要因となりうるものと思われる。



6卵 (イヌビワより), 川上郡成羽町成羽・山本上 (250m) 14. VI. 1992

備中町でイタビカズラから卵を得た帰途、以前にイヌビワの自生を確認しておいた成羽町に立ち寄ったところ、ここでも卵を確認することができた。すべてイヌビワを用いて飼育したところやはり7月上旬に5♂1♀が羽化した。 (〒719-11 総社市真壁1048)

## クロカナブンの採集記録

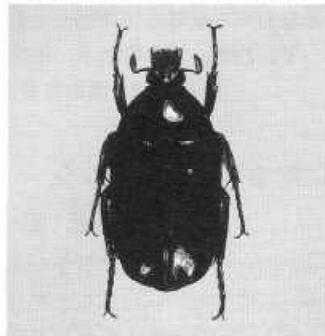
青野孝昭・奥島雄一

岡山県内では採集例が少ないとと思われるクロカナブンを採集しているので報告しておく。

1 ex., 新見市草間谷合, 29. VII. 1976, 青野孝昭採集・保管。

1 ex., 中和村山乘山, 12. VIII. 1976, 青野孝昭採集・保管。

1 ex., 新見市羅生門, 7. IX. 1992, 奥島雄一採集, 倉敷市立自然史博物館保管(写真)。



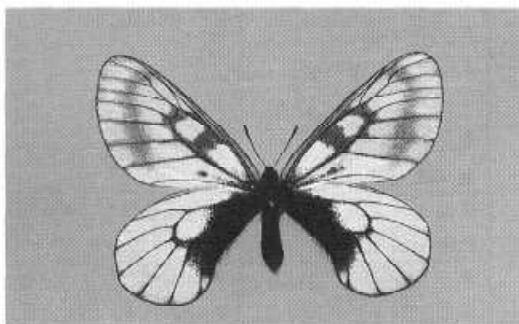
(〒710 倉敷市中央2-6-1, 倉敷市立自然史博物館)

## 川上町でウスバシロチョウを採集

渡辺和夫

ウスバシロチョウの岡山県西部における現在までの南限記録は、川上町穴門山神社及び川上町横松であり、いずれも目撃されたものであるため、確実な記録が欲しいと思っていたところ、次のとおり採集することができたので、報告しておく。

4♂, 川上郡川上町杖立, 23. V. 1993



道路工事のため北側斜面が削られ、南側は落ち込んで水田となっているため、かなり明るい環境だった。

写真に示したのは採集したうちの最も黒い個体であるが、他の個体も前翅外縁の黒色鱗は比較的発達す

る傾向があり、前翅中室内の黒色鱗もよく発達している。

## 参考文献

渡辺和夫 (1986) 岡山県のウスバシロチョウ、すずむし (121) : 1-13

渡辺和夫 (1989) 川上郡川上町でウスバシロを目撃、すずむし (123) : 12

(〒719-11 総社市三輪203)

## 旭町の南部における

## ウスバシロチョウの一産地

中村具見

吉備高原地域ではウスバシロチョウは東部と北西部よりに分布しており、産地もやや局地的となっている。旭町では、最北部の北・打木沢付近に生息地が知られるのみであるが、より南部に位置する休眠の峰付近で採集することができたので報告しておく。

7♂, 久米郡旭町休眠 (260-280m) 11. V. 1991  
県道べりの休耕田の周りを飛ぶ個体がいくつか見られた程度で、個体数はそれほど多くないようである。

(〒719-11 総社市真壁1048)

## 後山の材からフタオビミドリ

## トラカミキリが羽化脱出

渡辺昭彦

フタオビミドリトラカミキリは近隣の鳥取・兵庫県等からは既に記録されており、そこではさほど珍しいものではない。しかし、岡山県からは未記録で、懸案の種であった。筆者が東粟倉村の後山より持ち帰った材から、本種が羽化脱出したので、報告しておく。データは下記のとおりである。

*Chlorophorus muscosus* (BATES)

フタオビミドリトラカミキリ

1♂ 31. X. 1992 材採集(樹種不明), 羽化脱出 10. VI. 1993

小型の♂個体で1頭のみの羽化脱出であった。

また、ヒトオビチビカミキリも同時に採集した材(材は別の樹種である)より羽化脱出したので記録しておく。

*Sybra unifasciata* FUJIMURA ヒトオビチビカミキリ

2♂ 1♀ 31. X. 1992 材採集(樹種不明), 羽化脱出 30. V. 1993~10. VI. 1993

なお、当日は以前の採集行で目をつけていたエゾエノキの枯れ枝の調査を目的に行つたものである。エゾ

エノキは当地では多くはないが、キャンプ場から沢沿いの道をしばらく上がった植林の杉が混じった原生林の直前にかなりの大きさの樹が何本かまとまっている。その内の1本に程良い腕位の太さの枯れ枝が付いているのが確認済みで、目的は県内未記録で私自身県内では連敗続きのアカネキスジトラカミキリであった。さらに、あわよくばルリメダカカミキリもという採集行であった。しかし、期待はポイント到着後5分とかからず霧消した。材からはアカジマトラの死骸が出ただけであった。しかたなく、そこらの材を採集した中から出たのが上記のものである。

一方、当日のビーティングで採集できたカミキリは次の一種だけで、普通種ではあるが、時期的に面白いので記録しておく。

#### *Rhopaloscelis maculatus* BATES

フクモンアラゲカミキリ

1♂ 31. X. 1992

なお、後山より他日採集したカミキリ2種の記録を付記しておく。

*Saperda tetrasigma* BATES ムネモンヤツボシカミキリ  
1♂ 8. V. 1993 蜂採集 (樹種不明のツル材),  
羽化 20. V. 1993

*Psacocthea hilaris* (PASCOE) キボシカミキリ  
1♂ 8. V. 1993 材採集 (樹種不明), 羽化脱出 22. V. 1994

2種とも舟木歩道途中の植生の良好な所で採集した材から脱出した。

(〒701-01 倉敷市上東1050-1)

#### 県東部で採集した

#### カミキリムシ数種の記録

山 地 治

岡山県東部の吉永町、和気町で採集したカミキリのうち、記録の少ない数種について報告しておく。(いずれも著者採集)

- *Kanekoa azumensis* MATUSHITA et TAMANUKI ミヤマルリハナカミキリ  
4 exs., 5. V. 1993, 吉永町八塔寺, カエデ花上より  
2 exs., ♀, 和気町都留岐, ウワミズザクラ花上
- *Pidonia amentata* BATES セスジヒメハナカミキリ  
2♂ 1♀, 5. V. 1993, 和気町明神山, コガクウツギ花上
- *Stenhomalus cleroides* BATES カッコウメダカカミキリ

1 ex., 16. V. 1993 和気町明神山, 叩き網で採集

• *Xylotrechus laetus* MATUSHITA ズマルトラカミキリ  
1 ex., 5. V. 1993 吉永町八塔寺

池の水面に浮いていたものを採集

• *Plagionotus christophi* (KRAATZ)

クリストフコトラカミキリ  
1♂, 5. V. 1993, 和気町明神山, 薪材にとまっていた。本種は今まで県西部や県北からのみ得られていた。

参考までにクリストフコトラカミキリの西部における最南と思われる記録を付け加えておく。

1♂, 10. V. 1989, 備中町名木, 伐採木より採集した。  
(〒701-12 岡山市芳賀5116-11)

#### ソヨゴに集まるカミキリムシ

岩 出 斎

高梁市の臥牛山にはソヨゴの木が多く見られるが、筆者は、城跡へ向かう道沿いにある2本(以下A, Bとする)を選定し、そこに集まるカミキリムシを調査した。方法はスイーピングで、結果は下記のとおりだったので、報告しておく。調査年は1994年で、種名は略記した。

	6月4日 10:00~12:00 (晴:風弱い)	6月5日 14:00~15:00 (晴:風弱い)
	日当たりで明るい環境	日陰だが、一部日向
A	ツマグロハナ 1 ex.	ホソトロ 2 exs.
	シロトロ 1 ex.	チャボハナ 1 ex.
	チャボハナ 1 ex.	アメイロ 1 ex.
	ホソトロ 1 ex.	
	アメイロ 1 ex.	
	チャイロヒメハナ 1 ex.	
	セスジヒメハナ 1 ex.	
	ヤツメ 1 ex.	
B	日当たりでAよりさら に明るい環境	完全に日陰で、暗い環 境
	ホソトロ 2 exs.	ホソトロ 2 exs.
	チャボハナ 2 exs.	チャボハナ 3 exs.

再現性については追調査が必要であろうが、日光の照射状態と訪花性には興味深い関係がありそうである。

なお、Aの枯枝(1993年11月採集)からは、1994年4月にクビアカモモブトホソが羽化しており、本種も

期待されたが、観察できなかった。

(〒710 倉敷市堀南858番地16)

### アオマツムシ岡山市で採集

河 原 宏 幸

1992年秋、岡山県で初めてと思われるアオマツムシを採集したので報告しておく。

#### アオマツムシ

*Calyptotrypus hibinonis* (MATSUMURA)

岡山市理大町、1♂, 5. IX, 1992

岡山理科大学内のキャベ

ツ畑において、既に死亡していいた個体を採集。損傷はあるものの体形は崩れておらず、一見して本種と判るものだった。

本種は近年、都市部を中心分布を拡大しつつある外来昆虫で、今後県内での動向が注目される。(標本は倉敷昆虫館収蔵)

(〒730 広島市中区河原町7-5-601)



### 高梁市西部でヒメシジミを採集

中 村 具 見

ヒメシジミは、県内では主に湿性草原を生息地として、中国山地を中心に吉備高原の西北部にも局地的な産地が知られている。筆者は、これまでに記録のなかったと思われる高梁市において本種を採集しているので、新産地として報告しておく。

2♂ 4♀, 高梁市宇治町柴原 (380m) 8. VII.  
1990



♂裏面

♀裏面

山間の渓流べりに生じた小さな湿地とその周辺のきわめて狭い範囲に限って見ることができた。今後、吉

備高原中部の近隣の地域で新たな産地が発見されるかもしれないが、成羽川の支流である坂本川及び北上して高梁川に合流する本郷川を結ぶラインよりも東側の吉備高原では今のところまったく本種は知られておらず、既知産地からはやや離れた遺存的な生息地といつてよい。

なお、斑紋等には他の県内各地産に比較して特に差異は認められない。(〒719-11 総社市真壁1048)

### ミヤマカラスアゲハ春型の

#### 白色帶消失個体

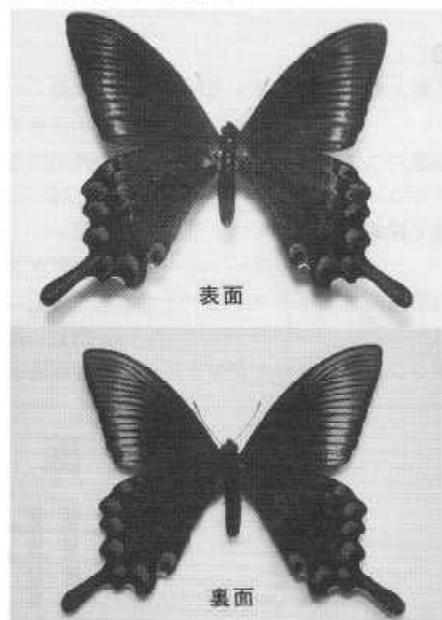
小 松 恵

ミヤマカラスアゲハの春型裏面後翅の白色帶消失個体を採集しているのでここに記録しておく。

本種は、夏型では、しばしば裏面後翅の白色帶が消えてしまう個体が多いが、完全に消えることはない。

しかしこの個体は、ほぼ完全に消えているので、一見カラスアゲハのように見える。

1♂, 岡山市金甲山山頂, 5. V. 1993



他に3♂採集したが通常の春型個体であった。

(〒710-01 倉敷市藤戸町天城1735-8)

### イシガケチョウの目撃例

中 村 具 見

イシガケチョウは近年北上分布拡大傾向の著しい種であるが、ここ1~2年目立って増加したような感が

強い。そこで、筆者の目撃した事例を次に記録しておきたい。

1 ex., 高梁市中井町西方上野 16. X. 1993  
山間の渓谷で、日当たりのよい林道上を飛翔しているもの。吉備高原地域でも次第に数を増しているようである。

1 ex., 総社市溝口 3. XI. 1993

市街地の路上を飛翔していたもの。

いずれも気温が高く穏やかな天候の日で、他にも成虫越冬を行うチョウの飛ぶ姿が散見された。

(〒719-11 総社市真壁1048)

## 次

最近の種松山山系のトンボ	守安 敦	1
高梁川水系におけるアサギマダラの繁殖		
河邊誠一郎	4	
岡山県から採集した甲虫類の記録	山地 治	7
蒜山高原の興味深いハムシ	渡辺昭彦	14
1992年に採集した八重山列島の蜂類について		
原田裕康	17	
沖縄本島・宮古列島で採集した蜂類について		
原田裕康	18	
吉備高原地域西北部の		
メスアカミドリシジミ（続報）	中村具見	21
岡山県のオサムシ分布資料	山地 治	25
 —おとしふみ—		
川上町と備中町でのイシガケチョウの記録		
小路嘉明	5	
岡山県のコメッキムシ追録 V	渡辺昭彦	6
ヨドシロヘリハンミョウの記録	赤枝一弘	6
倉敷で採集したキバネツノトンボの記録		
青野孝昭	6	
岡山県内のフトキクスイモドキカミキリの記録		
山地 治	13	
ズボンに止まったコエゾゼミ	佐藤國康	15

街中で得られたムラサキツバメ	中村具見	16
県南におけるタガメの採集 2例	青野孝昭	16
フタイロチビジョウカイの記録	奥島雄一	16
岡山市でタガメを採集	山地 治	19
備中町でオナガシジミを採集	中村具見	20
アカマダラコガネの再発見	奥島雄一	20
サトキマダラヒカゲ玉野市で採集	土畠重人	20
備中町でクロコノマチョウ採集	渡辺和夫	20
イシガケチョウー1992年の記録	中村具見	26
クロカナブンの採集記録	青野孝昭・奥島雄一	27
川上町でウスバシロチョウを採集	渡辺和夫	27
旭町の南部におけるウスバシロチョウの一産地		
中村具見	27	
後山の材からフタオビミドリ		
トラカミキリが羽化脱出	渡辺昭彦	27
県東部で採集したカミキリムシ数種の記録		
山地 治	28	
ソヨゴに集まるカミキリムシ	岩出 齊	28
アオマツムシ岡山市で採集	河原宏幸	29
高梁市西部でヒメシジミを採集	中村具見	29
ミヤマカラスアゲハ春型の白色帶消失個体		
小松 恵	29	
イシガケチョウの目撃例	中村具見	29

# 医療法人 重井病院

倉敷市幸町 ☎086(422)3655

すずむし 128号

1994年9月30日発行

発行者 倉敷昆虫同好会 (〒710 倉敷市幸町 倉敷昆虫館内)  
振替口座 01210-2-6927  
印刷所 サンコー印刷株 (総社市真壁871-2)